杉風反雨集

二

15
1406
2

門 15
號 1406
卷 2

若菜

早稲田大學圖書館

昭和廿四年二月廿一日
高田早苗氏寄贈

草雑 [illegible]包蔵表衣之通称俗曰直身ト

△朱熹子閩ノ[illegible]

△仁ハ文字ニ包アリ [illegible]ハ[illegible]ヤム[illegible]ニ包

渡唐の天神　并天神の像

半陶稾三十六丁ウ　天神の像　同三十六丁ウ　入唐天神記　夢陽天神像記

天神像賛

△髑髏為壷[illegible]基　大祖於淮湖中ニ髑髏ニ一壷ヲ以テ蔵兵冊[illegible]也[illegible]即乾此洪武三十年事也　[illegible]書[illegible]兵庫ノ[illegible]髑髏[illegible]

△左傳　曹劌曰小大之獄雖不能察必以情 曹劌対曰忠之属也又曰上思利民忠也[illegible]上下ニ通シテ忠ト云フ 後世ハ専ラ君ヘ対シバカリ忠ト云フ[illegible]

△古ハ丈生ニアヅカルヿハ皆仁ヲ以テ称シテ忠トイハズ

△中風ハ他病トチガヒ遠ニ[illegible]ヲコレ其病本ニセシウ中ニ備ヘテアラハレ故ニ外ヨリハイラズ

△求楽銭　応永十年八月[illegible]浦ヘ[illegible]舟アリシニ求楽銭数百緡ヲ積来レリ則抑留シテ京都ヘ上進ス
道義ヲ我持[illegible]唐船関東ヘ着岸スルハ足利関東ノ徳分タルヘシト仰セシ[illegible]唐人ニハ帰唐ノ日ヲ積リ其償[illegible]

求楽銭関東ニ此銭ヲ以テ売買[illegible]法ヲ定メ永楽銭ヲ用[illegible]
諸民[illegible]永楽銭[illegible]

草雜

△袍　字書云袍者表衣之通称俗曰直身ト

△五雜俎云娼妓有不隷於官家居而賣姦者謂之土妓謂之私窠子ト
今テノカクシ賣女ナリ　土妓カクシ遊女

△朱熹子　閩ノ産也新安ヲ本貫也云々

△江蘇ハ文字ニ色アリ　アヤガメ　ハルシヤム此二色ヲ加ヘテ字ト作ナス　ハルシヤムハ西僊

△天下者天下之天下也非一人之天下也　前勝野聞　明太祖
コラ書名也此書ハ良懐親ヱヨリヤリタル書也

△髑髏為盃基　大祖於後湖中築一臺以藏兵冊遂失也

△左傳　曹豈尚其之獄雖不能察必以情曹劌對曰忠之属也又曰上思利民忠也　即乾此洪武三年事也
殺書ヲ将国兵庫ノウキ島ハ此類之前勝野聞
後世専ラ君ヘ對シバカリ云忠ノ義ヲ失フナリ　古ハ上下ニ通シテ忠ト云フナリ

△古ハ衆生ニテヅカヲタルヿハ皆仁ヲ以テ称ス忠トイハズ

△中風ハ他病トチガヒ遠ニヨコレモ其病本トセシク中ニ備在テアルハ故ニ外ヨリトイフズ

△求楽銭　応永十年八月相州ノ浦ヘ漂舟アリシ求楽銭数百緡ヲ積来レリ則抑留シテ京都ヘ進シ
道義我ヲ我持ス唐船関東ヘ来着スルハ是利潤第一ノ德タルベシト仰ラレシ船中ノ財宝不残
留メ唐人ニハ帰唐ノ日ヲ積リ其保ヲ与ヘ　粮米陸路新ホリ其外種々与ヘテ帰唐セシメ
求楽銭関東ニ此銭ヲ以テ売買領ヲ法ヲ定メ永楽銭ヲ用ユル銭目ヘテ后　天文廿大年　此銭
諸民ハ求楽ト[illegible]云雲銭ヲ受テ用ユ[illegible]　早[illegible]ル[illegible]

慶長九年正月ヨリ事ノ永錢ヲ用ヒテ以テ鐚錢ヲ以永樂錢ノ代リトスサレトモ其錢ノ善悪撰テムツカシケレハ
同十一年十二月八日大四相州右左伯州ニ台命アツテ停止ス

△梅ヲ木母ト云フ　增續類書ニ東坡潛志ニ出テタリ

△對食　宮人自相与為夫婦名ニ對食甚相妬忌也

△米一升六合五夕代壹匁　寛永八年十月十五日

△匣烟（カフエン　ハコタバコ）　日本ノ煙草ヲ刻テ籍メテ西烟ト云テ唐人ヘウリシコトアリ

△木瓦（コケラヤネ）

△放生池

△即字　即猶若也　漢書霍光傳

△折簡　折簡猶言手紙

△壺ヲツボト讀ハ訛リ　壷ヲ壺ト書ハ似タル故ニ

△新錢ヲ民間使用スルコト不多文ノ武藏ヨリ遁ス

古部兵戸手形

請取銀子事
但拾文目ヅヽ壹石ニ付也
合百文目者
右米拾石ハライ升ヲ以請取所實正也仍
如件
慶長十年卯月十五日
但馬攝ナヒニ　兵部
各務勝右衛門殿

△杣字　山田福吉傳　江従抄

△酒餚　志俗録　楠鋼ノ類ヲ　酒ヲ湯ヘ…スルコト

△銀閣　銀札ノコト宋ヨリ　元ヨリ始ム

臘八粥之事　事始事物紀原

事文類聚ニ云南方尊ヲ臘月八日行灌佛會ヲ皇朝臘月八日都城諸大寺作浴佛會ヲ送七宝五味之粥ヲ謂臘八粥ト
本朝臘八粥名ヲ温臟粥ト云　永記
今の三月八日ハ周の代の正月八日なれハ釈尊誕生の日なり

作る事始といひしハ十二月八日ハ納めの二月八日ハ事道の
日なりけり作る事納といひしハ喜の代の月違と用
いなりし後ハ四月八日ハ二月八日とられと釈佛生日
といひされと夜かく時移りて今いふた事始とのミや
まや又六七つけの事ハ土宗の味の五七の中の六と
取て六色の汁を具つきける久しき中に自からと
家々の門にかける事ハむかし邪道行人の門に革と
みて人の物を止めけるとし破事ありけれハ
其の日ハまのいふられハ人の物を止めんとて設
りけるとして録此とやはらし

△□□□詩
禮傳業者為弟子復於人為門生ナリ
弟子門生ノ區別トシルベシ

△曲水宴 文献通考
日本ニテハ唐以来慶雲遣貢使三月三日有流花曲水宴八月十五日放生会アリ

△畫竹
畫竹以濃墨為面淡墨為背
此法始于湖州ニ 太平清話

△飛虎 頭ブスマ鉢ワ 圖書編

△茶藍 葉ハ藍ノ如シ寒ヲ畏レ山茶 藍ナルベシ

△板障 イタヘダテ
今邦俗ニ羽目ト云フ也
柱間不為壁以板為障施以油漆 周之ヲ口ト只

△五穀樹
當初夏時其実如稲麥則稲麥豊ニ為 鳥形則大水ニ
コクしゅ樹ナリ

△油杉
秋田ヨリ出ル杉ヒシテ油アルニヨリテ油杉トナヅク
出羽國ヨリ油杉ニ

△佐渡 上杉景勝領金銀僅ニ出ツ又石見金山モ
毛利輝元領國ノ時僅ニ出ツ
神祖御拝領トナリシヨリ彩シク出ル

久保乃取陀尼

口さゝ浪や志賀宮 さゝ浪ハ滋賀ノ郡ノ浜也
志賀ハ今ノ近江滋賀郡大津ノ辺也

△ムナシ車 やう車
空車 乗らぬ車

行院
念原ニ行キ詩ニ 携（ママ）テ來ルヲ 火ヲ 一万五 角屋ニ游ビテ 独（ママ）見ニ [illegible] 間 [illegible]

唱和 口ニ都ヲ云フ

○鍛冶 カヂヤ 和名カヂ 俗ニ鍛冶ト云 誤ナリ 冶ハ冶ニ

控引 ヒキコミ 船ヲ控ス 彼山

△古ノ障子ハ今ノ襖ナリ 唐障子ヲ金障子ト云ハ今ノ金襖也
紙障子 襖ニアリ 古ハ唐紙障子ニ云ル ハキトニ名 正徳年中アラズ
カリソメノ如ニ紙アリ 障子ナリ

○癲狂 ヅハ 俗ニ称スル也 ○扇ヲ叩テ唐ト云テ 蝙蝠ナシテ扇ヲ作ヘ 河内 堀江

○経冊 後光厳院時頓阿始作之 紙幅一寸ハカト定ムル 梓明院及御宇時不破関屋板幅 唯ニ一寸 [illegible]
短冊 [illegible] ヒ子リ 斉明記 ハ壽ヲ書料ニアラズ
[illegible] 也 [illegible]

○佛法僧ノ鳥 [illegible] 一声九年日 [illegible] ナリ
仏法 仏法僧 僧仏法 僧仏法 僧仏法ト云フモ [illegible]
カウホウノ鳴声 [illegible] 三十声 五十声 [illegible]
日中ハ声セズ タセワヨリ [illegible]

春 [illegible] 三言

○優ナノ俳優ト云ハ我國ノ狂言師ナリ 戲者ト云テ人ヲ笑ハスルヲ俳ト云 優ハ則狂言師ノ俳優 侏儒ト云 人ハ身矮クシテ 侏儒ト云 故ニ俳優ハ [illegible]

棚屋 田舎ノ [illegible]

俳諧ハ戲レ言ヲ云 古俳ハ諧ニシタル俳諧
俳ハ字ハ [illegible]
御清ス [illegible] 大ニ [illegible]

上杉憲實関東擾乱ノ際ヲ [illegible] 擾乱ニ [illegible] 進ミ 自管領ノ任ヲ [illegible]
芥蔕ノ如ク遂ニ飄然トシテ大去シ長ク名利ノ關ヲ棄テ遠リ 西国ノ深山ニ
隠居シ又世間交ヲ [illegible] 彼鶴亭子カ五湖ニ [illegible] トハ事カハリ [illegible]
[illegible] 御第ノ説

○暗推 ソラスイト云

○魚山 山門

一莠山忘記　○稗官
小説モノ都テ稗官ト名付ルコトハ周樹屋書影ニ云漢藝文志ニ小説出於稗官
謂細米為稗ト王者欲知閭巷風俗細碎之言ニ故立ニ稗官ニ以記之
同書ニ稗史ナトモ云

○ワレカラ
海士ノカル藻ニ住虫ワレカラト云フ此物至テ小キ虫ニテ形ハ水黽ニ似テ長二三歩
青黄ニシテ是又蝦ノ種類之様ニハアレテモ能飛ノ佐渡国多シ西国ニテハ此虫ヲ
蘆実ニ喜テ酒ニ入テ盛ル最上味之ヨシ此海藻ヲ刈トキ其藻ヲ放ルモノハ
命ニ助カルベキニ蘆ノ身ヲ除ニ陰ニ出ル故ワレト我身カラニシテ亡ス云フ事ヲ云
裨カラ心ノツカザル悪ニ云ト

○郁子　ムヘト訓ル

○藤惺窩先生　冷泉家ノ法性寺殿道長ヨリ第四世長家ノ末孫冷泉為純ノ住播州細川日毅稱ス乃先生也和州為純長子市谷ノ中ニ生後還俗

○獻嘘（ケンキヨ） 日出度間違所 後ち平也
[illegible]

○刀圭 茅礼 医師ノ薬匙ヲ云フ 此ハ偶ニテ
飲刀圭ト云フ 是ハ[illegible]

○人救留石 十訓抄上巻[illegible] 此人ハ[illegible]
[illegible] 人救留石アリ

○サフラン 紅花ノ類草花ノ葉ニテ西洋歐羅巴州亜弗利加亜細亜州ヨリ出ル
花ノ中心ニ須ク蕊アリ 細キ長古状ヲ似タリ 其色赤黄 其味辛ク 芳香ヲ帯フ
其花芳馥ニシテ人ノ鼻ヲ撲ツ 一種又[illegible]ノ事ナリ 其草春苗ヲ生シ秋ニ至テ花開リ
其色純黄 其香百合ヲ似タリ 花後実ヲ結フ[illegible] 根ハ[illegible]ニ似テ[illegible]セリ
品数多アリテ形状其地ニ随テ異ナレ

○澄泥硯 瓦硯之
硯箋 高似孫 文房四譜 [illegible]

○カタクリ 猪牙草 [illegible]

○七首

茅原ガ説ニ今其根屋[illegible]周ル鐔モナキ
[illegible]ヒモカトユ
七カヒヒカタナ

○烟草 烟葉 烟酒 烟気 烟花 芬仙草 返魂烟 返魂草 綠南草 金絲烟 相思草

焦尾琴 新 由 詛

○吹風 磨ろ平 [illegible]

○顕微（ムシメガネ） 小虫ヲ照シ [illegible]

○木鹽 [illegible] 奥州会津伊北郡大塩里 [illegible]
西行ウタアリ

一 [illegible] 門子 [illegible] 御制札
一 [illegible]

舩見夾
都督之始
異之今作
大覧聞其標
如シ又所一滴

○吐虹法 一杯水ヲ含テ大陽ニ射ル
處ヲサシテ空中ニキヤキハ
虹ノ形顕ハル 大サ車輪ノ如シ

〇ケンキし
巘峭 目出度同道所 後ち年也流
切リ西向春リ丁寧 義閣将平ノ御下駄ロ丁重其ハ月中ノ助一步ノ心リ
又云ソ合併存家ノ宝アリ

〇人抜留石 十割ノ上点ハ死ヲ良ク出入ノ論シアリ
出代史主彦章傳 翁ハ数々雷皮人参留石ナリ

〇サフラン 紅花ノ類ニ草花ノ葉ニテ西洋歐羅巴洲亜弗利加亜細亜洲ヨリ出ル
花ノ中心ニ線ノ蕊アリ細ク長キ状ヲ似タリ其色赤黄其味辛ク苦シ
其気芳烈ニシテ人ノ鼻ヲ撲ツ
其色純黄其香百合ニ似タリ
品数多アリテ形状其地ニ随テ異ナリ

〇澄泥硯 瓦硯之
硯箋 文房四譜
...

〇カメクリ 香草
...

〇七首
...

第二
〇刀圭 医師ノ薬匙ニ云フ
...

〇烟草 烟葉 烟酒 烟気 烟花 ...

焦尾琴
〇木鹽
〇顯微 ムシメガネ
〇吹風の為

惣門之寺護ふ入候御制札
一 於当寺並門前之殺生之事
一 為不入之地可縦雖為罪科之者重犯者自当所可在追出之事
一 於当寺並門前之役儀之事
一 国中諸士等不得...
一 当寺門前諸役一切停止之事
右之条々於違犯之者可加成敗者也仍如件
永禄十二己巳年
六月廿五日 家康御判

獻峠（ケンキ） 日出處同道所
ヨリ西南春リテ…… 後ニ年此ノ法
……
又……

○刀圭（ヤクヒ） 医師ヲ云テ薬匙ヲ云フ 此ヲ……
……飲刀圭ト……

○人蔘留多（……）
[illegible]

○サフラン 紅花……
具……
其……
[illegible]
……似テ毛……セリ

○澄泥研 石……
砥箋高……
[illegible]
……鐔モナキ
……

○カメクリ 香字……
ワらつみ……

○燭草 烟葉 烟草
[illegible]

應神紀……

焦尾琴 新羅調使共宿武庫。爰於新羅停忽失火。即引之及聚船而多船見焚。由是責新羅人。新羅王聞之讋然大驚。乃貢能匠者。是猪名部等之始祖也。初枯野船為鹽薪焼之日有餘燼。則奇其不焼而献之。天皇異以令作琴。其音鏗鏘而遠聆。漢土ニモ似タル事有リ 呉人有焼桐以爨者。蔡邕聞其爆声曰此良材也。因請之削以為琴。果有美音而其尾焦。因名焦尾。捜神記

[illegible]

庭忘草 芭蕉ヲ云
○吹風の夢やちらん庭忘草 花ハ秋風の……

○顯微鏡（ムシメガネ） 舶来品之
小虫ヲ照ス……ノ類マデ五臓ヲ備フ 次ニ酒一滴ヲ照ニ風無キニ生動シテ潮ノ……如シ 又酢一滴ヲ照スニ皆一面ノ白虫ナリト云

○木鹽 濃五ニ削リ……
日本ニテ……伊北郡大塩里……ヨリ……
……

○吐虹ノ法 一杯水ヲ含テ大陽ニ對シ霧ヲサシテ空中ニキラキラ……
……中ニ……
虹形顯ハル 大車輪……

○皇國ニテハ花トノミ云ハ櫻　漢土ニテハ牡丹
日本ニテモ往昔ハ梅ヲ花ト云ハ素ヨリ
牡丹廿日草　詞花　咲しより散果るまで見し程に花のもとにて廿日経にけり
邵氏聞見録　洛中花多種而獨名牡丹曰花

○甘藷（サツマイモ）蕃藷　食事アリ

○河豚　無類ノ名物ニテ中リタルニ最初血ヲ吐カル時ハ地漿水ヲ服シテ愈ユ　地漿水トハ黄土地ヲ掘リ其中ニ水ヲ入テカキマゼ濁ラシテノ上澄ヲトル　若少ニテモ血ヲミテハ薫汁ヲ用テ間ニ合ハヌ
ヲカリシニ

○結髪　権輿（ハジマリ）ハ神代ヨリ允恭紀天武紀ニ見ユ
昔ハ掃モトホサガリ今世ノ形ヲ見ユ其價ヲ何事ゾ

○ヒロウド　紕漫白
△軟（ヤハラカ）ニシテ破マラス

○神農祭ニ伏義モ祭ルベキ
孔叢子曰伏義始嘗草木一日而遇七十二毒云々　武林ノ王剣池カ金環傳ニ伏義神農嘗
百草ヒハ伏義ヨリ始ルベキナリ

柳亭隨筆
○營義相ノ影　近世人ノ筆ニテ古画ノ如クセシ物也
剛井林云
菴ノ蠶カ　鴨声子五湖ニ給フ

○石榴風呂　［醒睡笑二巻］云々
京傳云フハ度數ナリ屈ミ入トスル
昔ハ鏡ヲ磨ニ石榴ノ実ノ醋ヲ用タル故也　今ノ梅醋也
鏡鋳ト云ニトリナシタル也

○費　伊勢人ノ風呂ヲ吹トイフハ空風呂トアル事也　伊勢小風呂ト云　垢ヲ搔香風呂ニ
ヘモノ身ニ汗ヲ出息ヲ吹カケテ垢ヲカク也　息ヲ吹カケタル如トウロホニ出テ
垢ヨリノ落ル也
［大根ヲ轢ノ葱ヲ標ノ立ドナルヲ大根ノ風呂吹ト云モ
息ヲ吹カケテシラフサマ彼風呂吹ニ似ル故ナラン］

○歌舞伎ノ國主（オトコ）ハ三十郎（狂言）　名古屋山三郎ハ山三ト云　誤リ

○麻酔十六　酸漿水（ホウヅキ）ノ名ハ主作　食之除熱治黄病　尤益小児　附方
婦人胎熱難産　ミエ

○樺焼（カバヤキ）　鰻鱺　其焼タル色紅黒而樺皮ニ似タル故名
又香疾（カヤキ）

○浮世袋ハ膝（キンチャク）ノ鞠ニ　浮世ヲ三角ニ
食遺ヲ初メ浮世ト云ヲ
草中ヨリ出ル故

室町時代
○浮世者　昔浮世ト云浮世ノ日 なる事ある故名ヅケラシ

○氷鼓

○鞢鼓（フリツヅミ）　擲石（イシナゲ）　宿世結（スクセムスビ）宿結

○二足三文

蘭ノ事ノ板　元人主刑ノ儀ヨリ出タリ

○浮世焼

サラシナ
爆竹　火

○唐国鏤（ヒナ）人　○宗麗（ホウコ）元美

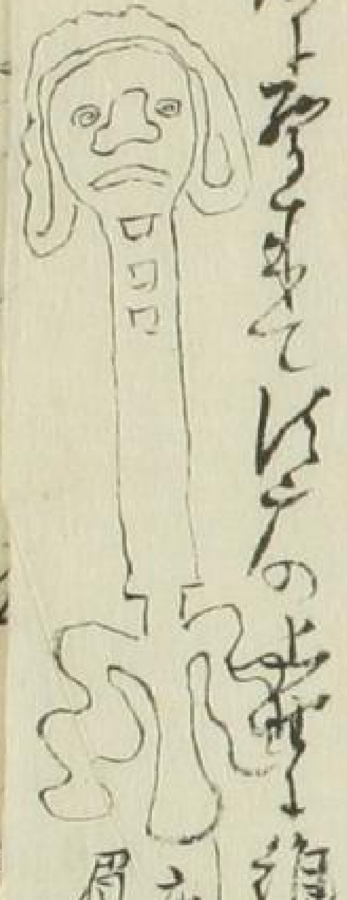
鞴鞨兜鍪

○後の雛　九月九日

佛法僧
宗淡云佛法僧形鳩ニ似テ大キク目大ニシテノ青色嘴赤黄ッ黄ツ背ヨリ右左頭
是深山ニテノ鳥ノ頭頬喉ニ手テ鳥ノ左赤色ッ以テ頭頬ノ間ワカツ
喉下及翅羽ノ端皆郡青色頬ヨリノ背及胸腹皆黒色ニシテ
帰毛ッ帯　翅羽尾並ニ黒シ高野山ノ尾モノ形鶏ニ似テ小ク指ノ
前后二ツニ分ツ

勝色瓶　ウス

○葦寒淡求長谷云驛鈴ノ出雲高宮正常付物長一寸余耳目口鼻皆具ル両耳ニ長宗月彦明神ノ宝物
ニモアリ今ハ国造池上郡隆正郎ガ家ニ蔵ス其形異シ口鹿革ハ柄香爐ニ似タリ其者耳ニ昔ハ
朝献退治ノ人持参ノ彼鈴ヲモテ軍兵ヲ指揮スニ今俗ニ云鈴ハ鞴鞨頭ニ付ル鈴ニ
寿徳院ニアリ
依テ呼ヨリ深ク浴室ホトニ
此鈴ヲ佩キテ鈴卯トモ云　古ヘ年貢ヲ馬ニテ宮ヘ大蔵省ヘ於時此鈴ヲ付キ又ムカ任国下ルトキ
鈴舟トモアリ　旅ノ山操ヲカク五馬ノ鈴ノ本ノ　衣笠
鈴ノ印ヲ淡土ニハ驛鈴ト云



淡水尾　御紋

○浮世袋　室町殿ノ
昔浮世芝　浮世切　かく里ぬ事ならし故ニ然ガラン

○氷鼓

○鞁鼓　フリツヽミ

擲石　イシナゲ

宿世結　スクセムスビ　（係結）

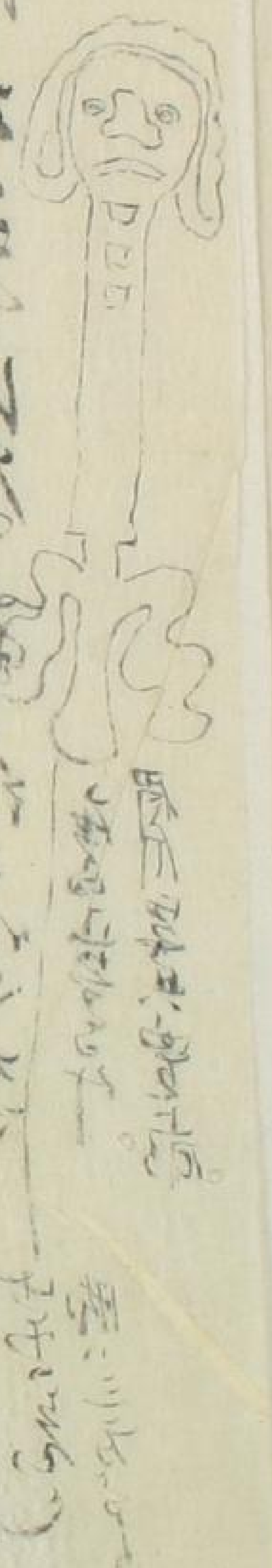
○二足三文

宿世鏡

蘭ノ書ノ板　元ノ生明ノ僕ヨリ出タリ

サフラン[illegible]

[illegible]



[illegible]

○[illegible]

[illegible]

ヘツクリ

○ほころびが綻ばの詞をよく〳〵思ふにや〳〵と　曾丹後集

[illegible]

○ホツゲバ毛ノ放乱したる形を云

ヘツクリ　[illegible]

綜　絡綵女ハ糸をつむぎあつむるもの

[illegible]

鶴ノヨミ合也ト云　和名鈔織機具ア

野王按綜機縷也　[illegible]

綜是ト云綜ハ[illegible]　綜着

[illegible]　ヘツクリとはいふなり

絡綵女　イトヨリメ

織裕大嘗祭式　共作二人

漢土ニハ鶴鵲

鶴ヲヨミタグヘシニヤ　毛毳ナド云モ細弱ナル鳥毛モテ

鵝のものゝほゝのむく

撻（ダウ）ムチウツ 色ウス
䰂（デヨ）ムチウツ 毛突 拖 同
撻 ムチウツ 扶 同 細弱ナル色
○伊藤維楨 字佐 号仁斎 古学ト云
さりしよ流りひとそて七夕の今宵
まきしの字ゆふう
蓁原宗固 深貞辰
百花齋
（たなばたのとき 女ノ織ル 乃ハ糸トリ）
○罪非不敎也 狂者非不武也 呂氏春秋大学篇
ヲヒトモノハ不云トミ
○太秦廣隆寺牛祭ノ祭文ニ云
源信僧都作ニハ 應永九年ト云 時代カワナドヲ僧都作ラレシ文ヲ用テ年毎ニ当月日ノニ改トヒト云
漫吉流
辻々乃道祖神 家々乃大黒天神乃袋持仁至迄
挌提頭仁木冠手戴之 久波比良之仁舊畠高手絡付
繖牛ム 癭馬仁鈴付書 或波鞍爪
仁大闘手諍天 仁加美或波鞍仁尻瘡手摺剥 天姚乞有里 下焉
闇風中多 尻瘡出亦腫ナ
要布美落
鐘樓法華堂乃加波津留美 中
貧乏 ニ 多久里。無熊女乃降ニ
ミ行。
○山
わし甲斐と信濃乃兵士乃軍をる
わてそうれしとものの墳ともふ方をそおくて
ものゝふのえきれかぶ体とふりて
秋風さびしきえかうつる
加茂真淵作
○
雨遣悶詩 節到清明ニ雨似酥 楚香意若一層無。近来唯坐遊 計。日換
壁間山水図
中井敬義 字伯道 號竹山 其昌
董堂
書家ニ
春月
うちなびく桂のかげも世事をてぬる節まり月のをち水
宣長
秋雨
夜月
おくもし時雨そ枝おりまでくもらぬ月そ神かりくる
仝
水のおもてまるし
くれ流川よとまでるぶ秋の色をかなちよせくるふ此夜のうすらし
仝
○擁書萬巻
世説新語棲逸篇
擁書萬巻 何假南面百城
北史李謐傳
丈夫擁書萬巻何假百城 高孝標 李謐
李謐丈夫ニ家
南面
范雎
南陣妓閨亭是義一朝轉眼地成空 初知南面
有樓萬眞石樓頭萬巻中
至樂誰道受書中南面王。會心窓雪暖勝
擁萬姫姜
菊相孫

居書ニハ礼楽志ヲ見ル、合巹（ガフキン）器ハ皆烏漆（クロヌリ）ニ
ハ瓢ヲ二ツ分テ用ユ

○女房男房

男房トハ蔵人ノ事ヲ指テ云之、蔵人職ハ天子ノ御身近ク親シク召仕ハルル者ニテ御側女房ニ同様ナル故女房ニ擬テ男房ト云タルナリ　以上安斎随筆後読説

○狂哥堂末阿弥　諱正雄　通称金子喜三郎　幼名喜又ト云、武蔵松山人之、狂歌ノ名アリ
又テニヲハノ喜ノ翁ト称ス、詞ノ本末一巻ヲ著ス、天明元年四月十日南田門ヨリ北水神社ニテ
落髪シ渡辺葛松ト改ム

なよ竹の衣はまのつま……

木阿ヲ妻ヲ智恵ノ内侍ト称名ハ是ト狂哥ノ聞ユ

○七重ハ重花ノ葉ト訓……中野……

歳冬ハ世未不々木　棣棠ハ山不支ト四言

毒をブスと云ハ附子之　南留別志説

今……附子ヲ銭ニスリテ歎ノ財　……説

危名

文化十二年十月廿一日　千住宿一丁目中屋六右衛門六十ノ年賀

酒呑競ノ酒戦ノ名

丹頂鶴　三升盃　　江島　九合

緑毛亀　弐升五合　　鎌倉　七合

万寿無量　壱升五合　　いつくしま　五合盃一

○伊勢屋言慶　新吉原中ノ丁ニ住　歳六十二　三升五合余ヲ飲

○大坂屋長兵衛　馬口労町　歳四十余　四升余ヲ飲

○市兵衛　千住掃部宿　万寿ヲ無量杯ニテ三杯ノム

○松勘　千住人　イツクシマ　鎌倉　江島　万寿無量杯　緑毛亀　丹頂鶴　右ノ杯ニテノ悪飲ワクス

○佐兵衛　下野小山人　七升五合ノム

○大野屋茂兵衛　吉原中ノ丁同商売猶亦之　小盃数杯ノ後一万寿ニテ五盃杯ニテ飲

○蔵前正太　三升ノム　浅草御蔵前森田屋出入左官

○石屋市兵衛　掃部宿人　万寿ニテ三盃ノム

○大門長次　吉原住　水一升醤油一升酢一升酒一升ヲ三絃ニテ拍子ヲ　ドラセロ鼓ニテ打チ飲ム

○茂三　馬喰丁ノ人歳三十一　緑毛亀傾尽ス

○鮒屋与兵衛　千掃部宿歳三十四五ニ計　小盃数杯飲テ後　緑毛亀ヲ傾ル

○天満屋五郎左衛門　千掃部宿人　其外日暮之里[illegible]寿亭[illegible]盃[illegible]飲[illegible]

[illegible]

○おいく　酌取女　江島杯鎌倉杯ニテ終日飲ム

○おみん　同上

○天満やみよ女　天満屋五郎左衛門ノ妻万寿無量杯ヲ傾ケテ酔ヘル色ナし

○菊屋おすみ　千住人　緑毛亀杯ニテ飲ム　二升五合

○おつい　同所人　鎌倉杯ニテあまり飲ム

○料理人太助　終日茶碗ニテ飲テ　丹頂寉杯傾ル

○會津旅人河田　江島杯ゟ始テ緑毛亀ニ至ルマテ盃不残　一ツノ丹頂寉ヲ残セルニテ飲ク

明る名れたる書と招きれそもあえんでしとそ
けさきし千住掃部宿の八兵衛てふ人壹升饅頭
九十九食ッといへり
○乃嶽千とせ四基掛二升ノ配帽ヲ棚架ニ乞ヒシ時
書野
太居月禮古佛座禮先來之千
入因當ナ

千壽中六今茲年六十自啓初度之筵大會都下飲士
皆一時海龍也各一飲一斗或有傾四五斗者可謂大盛
盛事矣古人以酔人為太平之瑞宜哉今在其座而
親觀之時文化十二年乙亥冬十月廿一日也
海龍群飲似鯨呑手撃東傾五湖不足伯倫七賢
倡達應愧白八仙走也

○梁武帝對達磨朕建寺一千百蘭寺僧尼供養十萬八千人有功徳乎答無功徳 宗書
○拈華微笑
摩訶迦葉一人破顔微笑メ瞬目ノ妙旨ヲ以心傳心タリ 梵天王問佛決疑經
○法然上人ノ名分ヲ令破却
後鳥羽院ノ御宇建永二年ノ専修念佛停止ノ時山門訴ニ是ヲ流罪 古事記
○大因文 日中ノコシ
武蔵都司入道作 大平記
○利人者天必福之賊人者天必禍之
○為不善于顕明之中者人得誅之為不善于幽暗之中者鬼得討之
○晋石崇緑珠カ故ニ亡サレテ金谷ノ花ト成ル
○諸苦所因貪欲為本
○前車覆不遠

○盛喜中不許人物盛怒中不答人簡

○好事不如無況於不好事乎

○責聡公倹畫而喪徳主仁義而已無則仁義所以存身亦所以亡已経國有徳禮也無者刑法也

○人笑其功女我怜ム其志ヲ

発鳩山ノ精衛他国ニ行テ帰ルトテ難風ニアヒ舟覆サレテ海中ニ沈テ死ス其子鼓ヲニテアリ父ノ溺死ヲ悲テ遂ニ蒼海ニ身ヲ投テ死セリ其魂魄鳥トナツテ湖上ニ飛ブ其声悲ク叫ブ精衛〻〻ト呼フ草木ノ葉ヲ喰ヘテ海ヲウヅメントスルト云〻 申呂

○好事不如無況於不好事乎

○隋煬帝之執着者大師恩愛顔之涙流於岳山之路ニ薬王菩薩焼臂御絶門之妙理ヲ晋明帝授着信心之真文幾香城碎骨剥那之恩難謝縦雪嶺投身須臾之徳亘劫

○刀風ノ到百苦湊身

○一指斬則五體不安念信発萬善自勤ス

○好利者ハ財珍迷之好色者ハ美女惑之　太公望云

○曹娥其父溺河ヲ渡ラントシテ毒蛇ノ為ニ殺ス娥神ニ祈リテ雙蛇ヲ得ンコトヲ祈ル天感シテ河泊シテ退治セシムト云〻

○隠逸林中無栄辱道義路上無炎涼

○陰来則陰晴来則晴君家帰去天朗月清

是ハ子ハ京遍照心院中ノ[illegible]　是ハ子孫世

名月晃秋照什　字南石ト云

○僧悲鐙　字恵南　京空華堂住僧

聞香ノ名人此僧鼻ヲキクヿ稀代之其品ヲリ其持主ノ二亦ヒ[illegible]

○一言観音 本所回向院ニアリ 権兵衛何ニテモ一言ニテキヽ依テ一言観音ト云

○蚌涼洗一坑夢蹤地窺ハ半窓明
六孫王廟多田院ノ南谷師夢中ニ聯句ヲ見之

○手取釜 粟田口住人善輔ノ作
彷彿松濤声 昔日高達坐寄遊 ニ善輔
手取釜おのれハ口のさし出て雑炊くく
くすかしくな

豊臣太閤ノ命ヲウケテ千利休ト真釜ヲ善輔ガ鑄テシガノ旨ヲ傳ヘ不許也シカバ善輔若シ此釜ヲ奉リテハ外ニモノナケレバ今ヨリ飲食ノワザナリガタシトツブやきて アル釜アレバコソアルウルサキコトモきケリトテ地上ニ投打テ打砕ケリ
サテ善輔ガ歌ニ
あらむづかし何ぞ俵ものの行法師
律蒿蹊曰此語ノ話 東南蕎谷ナドモ此粟田山ニモ此名ヲヨビテ宮傳ヘシテハ茶器ニ此説アリシト思ヘバ南ノアミダガ峯ノ下ハ鳥部野ニテノモト粟不ナレバ清水田ニ移セシナルベシ

豊公善輔ガ清閑寺ニ感心シテ毀シタル釜ヲ取戻シ其形ノ如ク二ツ鑄サセラレ一ツハ太閤御物ナリ一ツハ善輔ニ与フトゾ 和天下ニ此ト定メ玉ヒ外ニ鑄ル事ヲ停止シ 細川玄旨法印ト鑄物師ニ千両釜ノ如ク鑄ヨトアリケルニ 鑄物師御停止ノ品故イカヾキヨシヲ辞セラレシ 此釜ヲ鑄タレバ御咎モアルマジトテ
手取釜ハ口よりさし出て見ハ似せどやとくすかりける
此釜今ノ熱田奉納蔵トナレリトゾ

○老馬識道 前管仲故事

○擲梭間 サヲナゲルマ 就機感 ジシ向タイフ

○亀ノ甲 音ヲフルヽトキハナキモセテ

○牛耳 フリアキノハツアゼ

呉ノ孫権ハ碧眼 千年的業不継トモカイナリシ故ナリ 諸葛瑾ガ寂

手ヘン胡 ... 胡牀ニテ亀ヲ任ス水アセテ魚ヲ古事 ...
執牛耳 ...

○一年力学志須脩[illegible]来[illegible]武問耶郎[illegible]

姚江朱流相不侵　学分蜀洛古猶今　雖然一日看陰月　何必三年抑道心　善尼

又

姑射仙人氷雪姿　清寒自与月相宜　世花元不上林種　籬外何妨帯一枝

和韻

朱流鄭学只交侵　於道元無古与今　不如相忘江湖裏　何事先生多痛心

又

孤鶴飄然塵外姿　柳間蘇露最相宜　有時間瞻沙月[illegible]　多[illegible]一枝

一三遷辛苦上陽中　自君相同郷與子童　擴上機因文故芳　七年成業

一刀切

○雲擁秦嶺家何在　雪擁藍関馬不前　[illegible]昌黎文集ニ[illegible]赴潮州[illegible]

韓昌黎ハ晩唐ノ末ニ出テ文才優長ノ人也。詩ハ李杜ニ美事太白ニモ恥ズ。文章ハ漢魏晋宋ノ間ニ傑出セリ。昌黎ガ姪子韓湘ト云ハ文字ヲ嗜ズ、詩ヲモ擴ラズ、只道士ノ術ヲ学テ無為ヲ業トス。其文昌黎湘ニ向テ云、汝天地ノ間ニ生レテ仁義ノ外ニ道ヲ逃ス、是君子ノ恥ル処也。我汝ガ為ニ是ヲ悲ム、ト之ヲ諫ム。湘大ニ笑テ云、仁義ハ我大道廃テ後ニ出ル故ニ、大偽起ル時ニ盛也。只無為ノ境ニ優遊シ是非ノ外ニ自得スルハ真ニ宇宙ヲ動シテ壺中ニ天地ヲ蔵シ、造化ノ工ヲ奪ニ擅ニ山川ヲ蹴ツ。却テ悲ブラクハ公古人ノ糟粕ヲ耳ニシテ空シク一生ヲ区々中ニ誤ルコトヲ。昌黎又曰、汝ガ所謂ル[illegible]今則造化ノ工ヲ奪事ヲ得テンヤ。湘答テ事ナキ一節置タル瑠璃ノ盆ヲ打覆テ驚テ又了仰向クルヲ看レバ、忽碧玉ノ牡丹ノ花ノ嬋娟タル一枝アリ。昌黎驚テ是ヲ見ルニ、花中ニ金字ニ書タル一聯ノ句[illegible]不分明ニシテ、昌黎[illegible]識思ヲナレテ傍ニ一唱三嘆、大句優美遥長ナル[illegible]製ニアラズ。其趣向落着ノ所ヲ難知。而テ是ヲ見レドモ忽然トシテ清失ス。湘ガ仙術是ヨリ天下ニ知ル。其後昌黎仏法ヲ破テ儒教ヲ貴ベキ由奏状ヲ奉ル。怒ニ依テ潮州ヘ流サルル。日暮馬泥前途程遠ク、途中ニ故郷ノ方ヲ顧バ秦嶺ニ雲擁テ来ル方ヲ不見。悼テ茫然ト嶮ニ登ラントスレバ藍関ニ雪満テ行ベキ方モ路ナシ。進退歩ヲ失テ頭ヲ回ス処ニ、何ゾコヨリ来ルニナク湘[illegible]トシテ傍ニアリ。昌黎悦テ馬ヨリ下リ、湘ガ袖ヲ引テ涕中ニ、先年碧玉ノ花中ニ見ヘタリシ聯句ハ、汝我ニ預左遷ノ愁ヲ告知ラセルニヤ。今又汝愛ニ来レリ、ト相リ語ル[illegible]

遂ニ謫居ニ愁死ス帰ル事ヲ得ス再会期無ク遠別今ニアリ寔ニ悲ニ堪ヘンヤ前ニ聯ニ句ヲ續テ八句ノ首ナリ

湘ニ与フ　一封朝奏九重天　夕貶潮陽路八千　欲為聖明除弊事　肯将衰朽惜残年　雲横
秦嶺家何在　雪擁藍関馬不前　知汝遠来須有意　好收吾骨瘴江辺
湘洛東西別レ去ラ　誠哉髪人面前ニ不説夢

○朝夕雑也　大年紀二十四才
叔云

不義而富且貴於我如浮雲　論語

人生可作好人[illegible]　[illegible]而[illegible]必

楽而不淫哀而不傷　毛詩　関雎序

一冬蚊ノ新化行レテ皇后元妃[illegible]息諱

宮女[illegible]　衛国[illegible]

氷問　大年紀二十六才
忠国文観僧正[illegible]

一朝　国師ト[illegible]四海ノ倚頼スル

鄧州南陽縣[illegible]
南陽縣菊水汲下流而延齢

峯法師カ刑戮ノ中ニ若ニ行ル[illegible]火羅国ニ流サレ氷岩山行[illegible]

持明院殿人々案ニ相違ノ五億ノ謫ニ者ニ多シ

頭燃ヲ払フ

綿密

項羽ハ学数百重ニ[illegible]高祖[illegible]

高祖城西門ヲ出テ成皐ニ奔ル紀信[illegible]忠義ヲ[illegible]

○矢合ノ流鏑　三面
時有不合[illegible]矢ヲ射サセケリ

○口中ノ食ヲ断

○人ノ頼ヲ[illegible]

○策ヲ帷幄ノ中ニ運シ勝事ヲ千里ノ外ニ決セン陳平張良カ肺肝ノ間ヨリ
流出セルカ如シ

○戴事計會ニ依テ暫ク破閣ス

○後醍醐帝ハ遠島ニ遷幸アリ藤房季房武家ニ召捕ラレ[illegible]
トキ宣房ノ[illegible]
長カレト何思ヒケン世ノ中ノ憂ヲミスルハ命ナリケリ　宣房卿七旬

○イラテノ[illegible]
イラツナリ

○孝君[illegible]

○議フナヨラフト

○元亨元年ノ春光朝ヨリ後醍醐[illegible]
帝[illegible]

○先則制人後則被人制

○敗軍将ハ兵ヲ不語

○窮鼠却噛猫闘雀不恐人

○呉ノ姑蘇城 呉王夫差ノ居城

○雖其数ヲ不知車前ニ飛来ル勾践是ヲ見テ是ハ営ヲ為ニテ

素懐ヲ可遂瑞相也ト車ヨリ下テ拝セリ 越王勾践呉ノ台ヲ許ヲ帰国トキナリ

○伐柯其規不遠 范蠡越王ノ臣 会稽ヲ雪ク

○功成名遂而身退天之道也 范蠡姓名ヲ改テ陶朱公ト

呼レテ五湖ニ隠ル

○釣ノ蘆花ノ岸ニ宿シハ半夜ニ雪ヲ止メ

○百里奚ニ往テ秦穆公ニ求テ令致覇業 管仲ハ斉桓公ニ九合朝諸侯主ト道射鉤之

罷世皆不知之恥ヲ

○大塔宮ハ南都般若寺ノ佛殿ノ大般若経ノ唐櫃ニ身ヲ隠シテ 武家方ノ諸兵法眼一乗院ノ好専ガ

五百餘ニテ捜レモ取得ズ 大塔宮ハサテ大唐ノ玄弉三蔵コソ感シケレ

○天下将亂時妖霊星出ル

○嗅皮 腑巾 芦鞋 石ヲ

○粟ノ飯 橡粥

○徐朱ハ為堅為路為 孟施舎ハ義隊ヲ 北宮黝ハ

○逞ト云 ○柱松

○秋篠 外山 重生駒嶽 志賀津 注吉 難波

寿永記

熊野権現 本紀 神代ヨリ

昌州未来記

百王全九十五代天下一乱而主不安 此時東魚来呑四海 日没西天三百七十餘日 西鳥来而

食東魚 其後海内帰一 三年如猕猴者掠天下三十余年 大凶変帰一元ニ

六ノ衛 マテンハ子ヲ思ヘ闇ニ迷フ六ノ衛ノ道ハ

宮ノ御鎧ニ立所ノ矢七筋 御頬先ニテ御腕ニ千木ツカレサセ給テ血流ル凋如ク

○用水 大平七

○雷 アマダレ ○山ヘ打寄テ

○錯 子ヲ打タル様ワイリ 大平セ

○手松

○奉頭ヲ大ト被云テ肥脹シタル者ガ鳥ノ卵ヲ家セラレテ

○兵塵之衝 敵人之様而速来 利況較ニ其不意ヲ

○瀬枕 セマク 大平八

○直違 スヂカヒ

○詫 ヤサレクス

○漲 セヽラギ 水

○帶麾隱伏之秋霜　大平記十四ノ山陰家京家

○捷疾鬼（セフシツキ）　秋霜ハ劍ヲ云

捷疾鬼　釋尊滅後ノ舎利ヲ闍維ノ時捷疾鬼ト云鬼神潜ニ双林ノ下ニ近付テ御牙ヲ一ツ引抜テ片時ノ間ニ四万由旬ヲ飛越テ須彌半ノ四王天ヘ逃上ル韋駄天追攻奪取是ヲ得テ後澄山道宣律師ニ被与自其以来扣我朝嵯峨帝御宇西山ノ峯堂ニ安置ス元亨釈書ニ見ヘ

○病氣身ヲ侵メ賀茂ノ新夏安居休

○大行不顧細謹

○迦（シヤ）　今日合太九戰迦レキナ

○武藏國住人久下二郎重光頼朝卿給御教書肥後山ニテ旗上ノ時一番ニ馳參ル頼朝卿感シテ我天下ヲ持ノ一番ニ恩賞ヲ可行ト仰アツテ自一番ト云文字ヲ書テ給フ頼テ其家ノ文ト成テヒ
子氏鞭後ニ高時ヲ攻ケ當家ノ爲ヲ討セントナリ當村ニテ久下時重ハ事一番ト書キ
大ニ立カフシテノ是ヲ遣ハ時高ニ付立ツテ見シ

○耳ヒクカニ濡ソオハシケル敗テ空ク大ヘシテ十一太九ノ

○禍蕭墻ノ中ヨリ出ノ

○蘇（ソ）　高祖

○鍛冶（カヂ）所ノ七郎　嬉（カリヤ）借屋ノ彦三郎　西郡（ニシゴリ）ノ十郎　大九ノ廿ウ

○汝是畜生發菩提心

番忠ノ近キ所ノ行スト聞テ湯ヲ如朝臣日野大納言資名卿御出家アリトナリ偈アリ三河守殿後ヲ同シク世ニ出テ御出家セントセシカ是ヲ聞テ汝ハ畜生トヨトエツ付テ

○天役（タイラニ）　今モ云役鎮レ用ニ立ナト云カ如レ

○新谷（ニヰ）田

○旗幟ヲヒラメカシ

○愧（ロウ）　コウスル

○武藏小手差原

○ロウカウ　鳥江　洋楚戰

○四方八百里ニ余ル武藏野　十四ウ

○蛙ノ手ヲ静ニ筆ヲナキ所

○難嘘ヲ吞テ汗ヲ流シ大十七

○螳螂遮車轍衛塡海ト又ルニ不異

○慶方ヲ失フル日上セウ

○罌粟（ケシ）ハ燕丹 被捨時世事満ナト云レテ希望ニ坐スヘ

ヲ失テ燕丹ガ命ト死ス

○嗤　○輪子

○輪子（リウゴ）了兩道　高時臣長崎等 在二名丟シ

○金澤武藏守貞將山内合戰相隨兵八百余騎數騎モ七ヶ所ニ疵ヲ蒙テ相模入道不斜國撫シテ勢ヲ所探題職可居御教書ヲ被成申
打帰リ玉ヒ是ヲ入道不斜感シテ思立ニモナレカシト被思テ又改テ打出玉ヒケル兵御恩賞ヲ
忠我百年ノ命ニ換ヘ一日ノ恩ニ大文字ニ出テ是ヲ館ノ門ヲ出ヨトメテ不熟ノ中
仰ニ行花

此時元弘三年五月廿二日九代ノ執權平ナリシ北条家ノ宗滅亡セリ
高時東勝寺ニテ自害ス門葉三百八十三人此ヲ同ク腹切ル

○漢ノ臣王陵カ母 孝子王陵ニ軍忠ヲ勵サシメンカ為ニ月剣ニ伏ス 高祖ト項羽ト争戦ノ時也

○斉ノ襄公ノ弟ニ無知ト云者アリ其臣鮑叔牙 小白ヲ取立テ斉国ヘ押寄セ無知ヲ打テ再斉ヲ保タセシ也 後ニ斉ノ桓公是ナリ

○夫長ニ思兵不可叶 ○中間 ○程嬰カ杵臼ヲ殺テ幼稚主ノ命ヲ助ケ 趙ノ孤ヲ育シ

○鎌倉高時ノ時長崎次郎高重 最期ノ合戦ニ出ル時 甲冑ヲ帯シナカラ庭ニ立テ左右ニ揖シ問テ云 如何是勇士恁麼ノ事 和尚答云 吹毛急用不如前 高重此一句ヲ聞テ 一切ノ討入 東勝寺ニ帰テ自害ス

○元弘三年五月廿二日高時一門不残亡ス ○戎衣

○肝胆 ○侯生ニ豫子カ命ヲ義ニ依テ軽シ ○羞モテ僅ニ残ル枚ノ段 青竹ノ根

○行路難不在山兮不在水 唯在人情反覆之間ニ 白居易 ○儒生
○蝉木 ○誣

○稼穡ニ艱ヲ寡シ ○記念

○貞観殿ハ后町ノ北御匣殿 校書殿 清涼殿 弓場殿 飛香舎 藤壺 凝花舎 梅壺 襲芳舎 雷鳴壺 昭陽舎 梨壺 淑景舎 桐壺 萩戸 陣座

○高野大師ノ難シテ大極殿ノ火ノ額ヲ朱雀門ノ額トヲ書ル時 ... 嵯峨天皇ノ時也

○藤中納言 ○紙銭 ○諸陶朱之富貴

○賊服貴服ニ謂之僭上 僭上無礼国之賊也 孔安国

○解脱之人 ○懐 オソロシ ○堯ノ代ニ九ノ日出ル羿ト云人矢ニテ九ノ日ヲ

○咒咀諸毒薬還着於本人 仏経

○晋献公其后ノ斉姜ニ三人子ヲ生ス長子ヲ申生次ヲ重耳三ヲ夷吾ト云三子也 其後驪姫ト云天下ニ美人ヲ迎フ 献公甚愛ス 驪姫又子ヲ生 奚斉ト云 驪姫其父母ニ勧テ三子ヲ悪ミ 晋ヲ譲ラント思ヘリ

謀テ太子モ人ヲ起テ其国ヲ傾セシテ奚斉ヲ可思死スヘシト諫ム献公孫驪姫ノ
賊ス或時申生母ノ追孝ノ為ニ三牲ヲ備ヘテ謁ヘテ母斉ノ墓ヲ祭メ曲沃ヲ祭テ其胙ノ餘（上ニ献ズ）胙ト
文献公ガ方ヘ送ル文献公ノ猟ニ出テ不在驪姫潜ニ其胙ヲ包ミ中ヘ鴆毒ヲ入彼
文猟ヨリ是ヲ食ント欲ス驪姫外ヨリ贈ルモノハ先ヅ人ニ食セシテ後ニ食セト云テ侍臣ノ人ニ食ハシムルニ
即時血ヲ吐テ死ス又庭前ナル犬ニ食ハシムルニ皆死ス驪姫ハ偽リテ泣テ申生ヲ怨
涙シテ我申生ヲ思フ実子ニ不劣サレハ奚斉ヲ太子ニ立ントシ玉ヘルヲ諫メシニ申生
却テ悪テ君ト我ヲ毒ヲ食シテ殺サントス是ヲ思フニ君ニ後申生ガ為ニ我ト奚斉ヲハ
片時モ生テ置給フマジ願クハ君我ヲステテ奚斉ヲ失テ申生ガ心ヲ休玉ヘト云文公大ニ怒テ
諸臣ニ告ルハ申生ヲ可討由典獄ニ仰ス群臣忠流ノ者ハ申生ヲ悲テ他国ヘ落ヨト
スヽム申生ハ不受ナニシテ寛ニ天命ト歎シテ自ラ喜ス其身ニ子化ハ卒ル
終ニ献公奚斉ニ晋ヲ与フ天命ニ背キシカハ奚斉ハ父子共ニ其臣里克ノ為メニ
討レテ晋ノ忠ニ滅亡スト

○須弥（犬ナミノ又）髮膝ヲ過キ馬ノ頭ノ如シ

○周ノ穆王ノ時ハ匠ス天馬来ル驥騄驊騮騏騄騮駬騄（キ　ロク　クワ　リウ　リ　ロク　リウ　ジ）ト云王是ヲ策テ四荒ノ極ヲ至ラサルハナシ
西天竺ノ舎衛国ノ山ニ至リ玉フ時ニ釈尊霊鷲山ニテ法華ヲ説玉フ
王佛ヲ礼拝シテ理氏安國ノ施物徳四要品ノ中ノ八句偈ヲ授リ玉フ法華中ノ経律

法門有ト玉フ深秘ノ文是也王霊鷲山ヨリ帰テ心底深秘ス其時慈童ト云童子穆王ニ寵
愛シ玉フ依テ帝ノ傍ニ給仕セリアル時慈童君ノ座位ヲ過ケルガ誤テ帝ノ御枕ノ上ヲ越ル
罪臣等議シテ其例ヲ考ルニ死刑ニアタル然トモ誤ヨリ出タレバ死罪ヲ宥テ遠流ニ可被處ト奏シテ慈童ヲ
酈縣ト云深山ニ流ス帝城ヲ去ル事三百里鳥モ不通虎狼充満セリ此山ニ入テ生テ帰ルハナシ王
猶慈童ヲ哀テ彼八句ノ内ヲ分テテ普門品ニアル二句ヲ潜ニ慈童ニ授玉毎朝十方ヲ礼メ此文ヲ可唱ト宗
サル慈童遂彼山中ニ菊ヲ守テル慈童ニ帝ノ君恩命ニ任テ毎朝此文ヲ唱ヘケルガ君忘モヤセント恵ケレバ
側ニ菊ノ上葉ニ書付ケル其菊ノ葉ニ置タル露ノ下ル流ヲ谷ニ落テ谷ノ水ノ滴ケル其水皆天ノ霊薬トナル
慈童渇ニ臨テ是ヲ飲ニ水ノ味天ノ甘露ノ如シ恰百草ノ味ニ勝レリ加之天人花ヲ捧ゲ鬼神手ヲ
束テ奉仕シケル故ニ虎狼ノ怨無ノ却テ擁護ス羽化仙人トナル此谷ノ流ヲ汲テ飲ケル民三百餘家皆
病即消滅シテ不老不死ノ上寿ヲ保ツ時代推移テ八百余年マテ慈童少年ノ貌有テ更ニ衰
老ノ姿ナシ魏ノ文帝ノ時彭祖ト名ヲ改テ此術ヲ文帝ニ授ク文帝是ヲ受テ菊花ノ盃ヲ傳ヘテ
萬年ノ寿ヲ祝今ノ重陽ノ宴是也是ヨリ即位シ玉フ時此文ヲ受持シ玉フ秘ニ此傳アリ
代々御即位ノ日受持シ玉フ釈主ノ根ヲ是ヲウケ御治世作君ニ授ケル依テ普門品ヲ當途
王作ト云

慈童ノ事　彭祖傳ニ云
壺祀

○文帝ノ云吾吉行日ハ三十里凶行日ハ五十里（漢ノ文帝ヘ千里行馬ヲ献セシトキ）吾鸞輿在前属車在後独乘千里馬将安之（吾弓ヲ不用遠カレシトキノ言也）

一 此記ハ崇神天皇ノ八年ノ紀ニ

憐テ太子ヲ以テ起テ此国ヲ従セント 天下ノ人可思所ニ謀ム 許ム所ト

○周代衰テ時房星降テ八匹烏トナリ穆王ニ走ク造父ヲシテ御サシム所周室傾テリ

○千里ノ馬ト云 錦ヲ称ズ元氏後漢 モチヒズメ馬ニ鞍ヲ置ニ騎ヘ騎士ニ玉フ

○健向ル所 アドコロ

○朝家ヲ禄シ ○隆道ヲ精 ○行脚ノ像志 ○翠簾ノ帳 ○鬢髪ヲ囲テ

○昔ノ年ニ濮水ノ辺ヲ過玉ヒケル 流レ水声ニ絃管ノ響アリ 年ニ師涓ト云楽人ヲシテ 殷ノ紂ガ湿俗濮水底ニ留テ此曲ヲ奏ス 周武王ニ誅セラル 玉樹曲ト云 殺声ノ曲ナリ

○周ノ楚王民ヲ好テ戦ヲ好ム夫人鐵柱ニ倚テ涼シケル忽不思懐姙ス 十月ヲ経テ一ノ鐵丸ヲ生ム 王怪トセズ 金鐵ノ精ナリトテ干将ト云鍛冶ニ命シテ宝剣ヲウタレム 干将妻ノ莫耶ト呉山ノ中ニ行テ龍泉ノ水ニ淬テ三年ノ内ニ雌雄ノ二剣ヲ打出ス 鎮鋣ハ時ニ懐姙セリ 産子ハ男ナリトテ 干将ニ云 メラ雄剣ヲ王ニ献ス 雌剣ヲ窟ニカクセリ 雄剣 箱中ニアッテ常ニ悲泣ス 王怪テ群臣ニ問 臣申サク 此剣必雌雄ト二剣有ナリ 王大怒テ 干将ヲ御獄ノ官ニ仰テ首ヲ刎ラル 其後鎮鋣子ヲ生 眉間尺ト名付 長ノ高サ一丈五尺 力ハ五百人ガ力 面三尺 眉間一尺 眉間尺ガ十五ノ年 母ノ言ニヨリテ 父ノ敵ヲ討ン為ニ 湯揚ノ中ニテ上ニナリ下ニナリ 喫挑ミ中 自己ガ首ヲ切テ

○眉間尺ハ大ニ悦テ剣ノ雌剣ノ鋒ヲ三寸喫切テ口ニ含テ 揺見ムトシ

此二振ノ剣出処ノ風雪ニ太子冊ガ物ナル 太子冊ガ荊軻秦舞陽ヲ秦始皇ヲ討セントキ 自図ノ箱中ヨリ出テ 始皇ヲ追巡リシガ 薬ノ袋ヲ被投 七首ノ剣 足ナリ

○六尺銅柱ヲ半ヨリ切テ逆ニ三ニ折レテ失タリ 或時天ニ一ノ悪星出テ天下ノ妖ヲ示ス 仍ハ天子宝ダリシガ 陳代ノ戦ニ失タリ 張華雷煥ト云二人臣楼臺ニ上テ 当星ヲミル 同ト 撫州ノ豊城ヨリ剣ノ光天ニ上テ 悪星ト闘フ 気アリ 張華怪シテ光ノ出ス所ヲ堀セラル 件ノ剣五尺ノ地下ニ埋レテ有 張レハ二尺足ヲ取テ天子ニ献セント 自ラ帯レテ延平津ト云沢ノ辺ヲ通ルトキ 剣自抜テ水ノ中ニ入ケルガ 雌雄ニ龍トナッテ 逆ノ浪ニ沈ム

○尊氏所謀ノ起ニ 陰雲
因ニ増歌ノ後ニ 屋キトト云隠語アリ 是ヲ何ナシ

○野七里山七里 ノリレ ヤマグレ 蒦

○矢ダウナニ遠矢ナリ
借言人ダクナト使フナシト云ヲ言ヘト云ウコト 何ダクナトエフ語リ

○カク計タラセ給フ 綸言ノ汗ノ如クヒナドナカルラン
決断所ノ催ナシ 當ツク … 後醒醐帝ノ時代

○手ヲアガイテ 十四 廿三オ
○箙ヲタヽイテ矢フ エビラ

○天並石橋 蜀川ノ縄橋

一 聖武天皇 神武天皇八十年ノ如ニ

○但馬國住人長九郎左衛門　大平記十七ノ廿五オ

○明星日札ニ間ノ御事

○鳳輦　○鄭キテ

嵓居　北山ノ不二房ガ葑房ノ戒師

猪皮尻鞘　草伏瑕瑾

○伏拜　雁ノ州ハ幡宮ノ前也　日光山御馬ガヘレナド云類ナラカ

○年胡簶　アマ面ガ　○イカケ地蒔

靡

○綸言再ビ不反　款状

理不盡是ヲ欲徹却

震

勢逃身ヲ時テ　徹

經兵急ニ拉ノ

作合ニテ後矢ヲ射ル

靡　○懸金ト垂トヲ折テ出ス

驅　○押ノ人ニ身ヲ寄スル

截纜　○言下ニ胃ヲ消シ矢中ニ力ヲ磷グ

潤

唐朝ノ左將軍歌舒翰與逆臣安祿山兵ヲ戰ケル旗ヲ

差ス兵士萬餘騎忽然トシテ官軍陣ニ

螳螂蟬ヲ窺ヘハ野鳥螳螂ヲ伺フ

○蚊ヲ殺ニ其馬ヲ撃ズ　楚ノ宋義

自破利碎堅

鑽靈龜ト吉日

聚斂ノ心變進退

當度

君親授斧鉞持首授將其柄曰從此上至天者將軍制之

復操持柄授將其刃曰從此下至淵者將軍制之

見其虛則進見其実則止

勿以身貴而賤人勿以獨見而違衆

為軍而

軍中之事不聞君命

戰勝於外功立於内

是故風雨時節五穀豊熟社稷安寧

依テ太子モ人ヲ起テ此国ヲ隠セシテ 于今人可悪死ス 謀ム誅ム孫ノ…

○後醍醐帝ハ大将ノ擧状ヲ不踏 帝ヨリ士卒直ニ訴事アレバ聡テ叡感ヲ破下僅ニ山中ニ伺ヒ以テ社候ノ
然ニ 勞力軍用ヲ支ヘラル北國ノ衛鎮共ヲ望ム人ヲバ不審問
被褒賞 故ニ依テ大将威戦ヒ士卒ノ心恣ニス

○細棟乾タ檜皮焼付テ

晏駕 崩 書ヲ湊ニ及王佐臨命終時不随者 擲テ 非想天金輪際

真都ト學ニ擬投年家ヲ殺ヒトシ 撝

高師直ノ師泰ニ

真都三重ノ甲ヲ上ヒハ學之一都ヲ帶シ乙ニ收テニト

秦穆公ガ三良ヲ僅ニ始皇帝 宋玉ヲ随ヘシ

○蜂 トブヒ

○美蓉 ○普石重傳ガ緑珠ガ故ニヒサシテ金谷花ドナル

監谷高貞師直ガ讒言ニ依テ妻子一族

○猴

○項羽拔山 骨陽日ヲ返ス

○魏祁衛鸚鵡洲ノ玉ヲ

石ノ龜ニ三ノ泉ニ嗽テ進撫ヲ樂ム

千鈞ノ弩ハ為鼷鼠不發機

無代ニ討セタランモ可口惜 俗ニ云ムダイ

○悪ノ郎トテ鉄炭ナル大刀アリ

○弓ハ養由ガ蹄ヲ追レバ弦ヲ鳴シ遠ナル樹頭ノ梢ヲ揺シテ落レシ

○馬 造父御ヲ取テ千里ヲ不疲

○馮夷ガ道ヲ… 驪龍 領下ノ珠ヲモ自百ク尋

○高祖自淮南黥布ヲ討時流矢当ニ未央宮ニ崩

○戎國 周世衰シトキ戎國乱テ王化ニ不随 官軍戦ニ無利討者 世ノ人ノ地ヲ奪フ七年 周王辰ヲ不安折節辰前ニ物ノ俊ナル犬ヲ海ニ有戎國ニ下シテ 寵ト神主ヲ嗾殺 世乱ヲ静メヨ 与ヘ三千ノ宮女ヲ一人下ラ夫婦トナシ戎国ノ王タラシメント 戎主ヲ嗽殺シ其首ヲ咆ヘテ周王ノ路ヲ過テ戎國ニ下テ 山ト拓ヲ下テ 吾夫婦ノ戎國ヲ且ク…

一日本紀 第一神武天皇八年ノ紀ニ

○層不撓月不瞬

○羿控弓ヲ天ニ懸ル九白ヲ射落ス
羿ハ臣寒浞ニ被殺　夏后少康ニ被討

○奡盪舟無求陰地ヲ追ル

○平維盛東国討手ニ下ル鳥羽ニ驚テ逃上ル祖父清盛ガ計トシテ三級ヲ追メテ被笑ル

○呉王臣孫武王闔閭ニ申ノ宮中美人ヲ集メテ南庭ニテ孫氏甲冑ヲ対シ弐ヲ取リ鼓ヲ馬ヲ馳テ習ハシム三千美人君命辰ニ戦ヲ習ハス戦場出タレバ命ヲ背カバ我等吾ヲ殺スベシト不怯体ナレバ戒ナレタニ婦女ニ習ハセ申トシテ宮女ノ婉娜羅綺ニ紛メモ寵愛シ呉王最愛ノ美人三人ヲ忽ニ斬テ捨タリ是ヲ以テ自余ノ美人拘頂テ士卒トモ二恐ヨトイ人ハ直ニ遅セトイヘバ止ル聚散一心変進退当度是全ク孫氏ガ美人ヲ殺ス事シスレテ兵法トハセズ只大将ノ命ノ士卒ノ重クスヘキ事ヲ明シテ呉王最モ美人三人マデ失ヒツル事ノ悲シテレバ孫氏ガ教ヘタル謀識ニ当レリト称思ナレバ道ヲ孫氏ヲモテ兵ヲ司ル敵国ヲ攻メシサセン

軍中ニ事ヲ謀ル

○始皇ノ沙丘ニ崩ジ漢楚機ニ乗ル事ヲ悲シ孔明ガ寿ヲ失テ騎ヲ残シ呉魏便リヲ得シコトノ悲シカ如シ

○罔両（バケモノ）大平

○篠塚伊賀守　畠山庄司次郎重忠六代ノ孫

○儺（タイシン）

○嗌（ノンド）

○四月朔掃部寮冬ノ御座ヲ徹シテ夏ノ御座ヲ供ス
十月掃部寮夏ノ御座ヲ徹シテ冬ノ御座ヲ供ス

○南面ニシテ玉扆ニ統織ヲ桃デサセ給フ入ハ臣下北面ニシテ階下ニ冠冕ス

○如来滅後二千百年ヲ経テ後西天ニ護法清浄トテ三人ノ菩薩アリ護法ハ法相宗ノ祖清弁ハ三論宗ノ初祖ニテ無相ヲ説ク護法ハ都卒天ニ上リ清弁ハ修羅窟ニ入玉ヘリ有相ノ義ヲ演シ

○兄弟鬩墻之争

○吾祖国　法師
二拝神代八ニ出玉ヲ国アリ小国ナレバ

一昇化崇神天皇八年ノ紀ニ

邯鄲夢抄

○漢朝ニ呂翁ト云者アリ
仙客枕ヲカシテ客此枕ニ臥シテ一睡シ楚国王ヨリ勅使来テ客ヲ被下其験物ヲ賜ニ
客悦テ楚国ノ宮門ニ着ル主席ヲ近付テ武ヲ問ヒ道ヲ計ル客対ル毎ニ
諸卿皆頭ヲ低レテ言ニ感ケルハ王不斜喜悦シテ将相ノ位ニ進メ用テ
廿年ヲ経テノ王隠ル其ノ嗣第一ノ姫宮ヲ客ニ妻ハス後宮使令娣衣珍ヲ
賜ル心ニ不叶事ナシ五十一年トテ夫人携ノ太子ヲ生ム楚王ニ位ヲ継
御子ナクシテ此孫出来ケレバ公卿大臣計ヒテ楚国ノ王位ニ奉ル盧生夫
妻勝レ諸侯ノ来朝ス○秦ノ始皇六国ヲ并カルガ如シ王子三歳ニ
ナリケルトキ洞庭ノ波上ニ三千餘艘ノ舟ヲ双ヘ数萬ノ舞客ヲ集メテ
三年三月遊ヲシ玉フ 三年三月ノ舞楽モ已ニ終リケル時夫人彼三
歳ノ太子ヲ懐テ船ニ立玉ヒトテカ誤ハヅシテ太子夫人諸共ニ海底ニ沈ミ給ヒケリ
数萬ノ群臣周章テ一同ニ叫ヒケルトキニ客夢醒メ悲ミ覚ニケリ

前ヲ不見ハ客云ク人間百年ノ栄花モ皆枕ノ頭片時ノ夢ナルヲ悟リ
終ニ楚国ヘ不越帰リ身ヲ捨テ世ヲ遁ル人トナレリ
枕ハ此山ノ証ト云々

○茅茨不剪此ニ揚不削 浮麗 風ニ

○東坡居人何宜ニ求ノ美メタリ

○卞和 楚山ニ璞ヲ得テノ廻リ天子ニ奉ル
武王文王、奉テ泉刑ヲ玉ル成王ニ
奉テ始テ玉トアハルヽ

○直指人心 見性成仏ノ二度又明

○徐福 文成 直ニ 秦ノ始皇ノ代
蓬莱ニ不死ノ薬ヲモトム

○宛転(テンゲ)手跡

○御道ノ言
○不ヲ入テ此ニ遣ル力金ヲ入テ此ニ鋳ル力生ス周ノ穆王ハ何カト云ニ皆流シテ奉レ

○大牢ノ具ヘ 珍膳ノ味 大饗ノ了　○隆覔 漢高祖ノ臣　烏江 地名
○項羽自ラ頸ヲ搔切テ左ノ手ニサシアゲテ漢ノ呂馬童ニ与フ
○白ノ了精兵白衣ノ練ノ言ニミヲツル人 廿九ノ時
○権伏ノ形
○寠藪
○玄宗天宝十四年安禄山軍起ル敗軍シ給ヘリ
不空三蔵ナクテ大法ヲ行フ時
○人間ノ外ノ天地
○曾参ハ復車ヲ於勝母之郷ニ
孔子忍渇於盗泉之水ニ

○殷帝武乙ト云主也即テ悪ヲ好ム一天四海ヲ掌ニ握ルトイヘドモ日月明暗ヲ
心ニ不任雨風劇シキヲ止エズコソ安カラン子トテ何ニモ天ヲ悩サバヤトテ
木ヲ以テ人ヲツクリ是ヲ天神ト名付ク　帝是ト傳奕ス　神負テ神ナラズ
人代ツテ簺ヲ打テ石ヲ仕テ傳奕スレハ帝ナドカ勝サラン勝トキハ
天ノ負タリトテ木ニテ作ル神形ヲノヽシリ頭ヲ剣ニテ切
踐躙メ郷門ニ是ヲ曝シテ　又革ヲ以テ人ヲ作リ血ヲ入テ
是ヲ高木ニ掛テ　天ヲ射ルト號ノ射ルニ血出テ地ニ洒リ
車駕ニ居テ行キ手積ニ河渭ニ獵セシ時疾雷落テ玉躰

一 日本紀ニ崇神天皇八年ノ紀ニ

ガスク
剳くに引裂デノ如ク指ヲ折リケル 紂王ノ祖父之

○呈平陸竹撮 タエギ

○唖 サヤリ

○子推ガ股ノ肉ヲ切リ趙盾ガ車ノ片輪ヲ扱ケレモ 莫ニハスヤ 廿二ナ丁

天台
獅子国 后ノ獅子ノ為 其子ヲ為ノ獅子ヨリ附シ

○噎 サモサワ 嬰

神布 カウナリ ヤセナミ 北石

盗跖 秋子ヲ蔵
王莽ガ周公ト成

袖鬢 カワカア
褪襤 モンじキ

断金 ダンキンノ交 二人同心 易ノ語

三保ノ松原ニ在テ羽衣ヲ

御覧 ...

民草ノ ...

莫拏

薫蕕 陵 瘕

飲水及禰 蓮根節 葛粉 四味

黒胡ノ倍 砂糖 少

一 日本紀 崇神天皇八年ノ紀ニ

偽テ太子ト云ヲ起テ世国ヲ治セシテ本ノ人可思死ト諫ム [illegible]

義興ハ自害ス 太 卅三ウ 廿四ウ

畠山入道ハ揔テ昼夜案シテ若者ヲ見テ或夜潜ニ竹澤右京亮ニ近付テ御邊ハ先年武蔵野ノ合戦ノ時彼ノ義興ノ手ニ属シ忠アリシカハ義興モ定テ其篤忠ヲ志シトソ思フラン サレハ此人ヲ偽テ討ンスル事ハ御邊ニ過タル人不可有 何ナル謀ヲモ運ラシ義興ヲ討テ左馬頭殿ノ見参ニ入玉ヘ 恩賞ハ宜依請ニトソ語レケル 竹澤ハ元来欲心熾盛ニシテ人ノ嘲ヲモ不顧ニし ○ 竹澤カ心中ノ偽ヲサル恵ニ頼テ近付奉ランタメ京都ノ人ヲ上セアル宮ノ御所ヨリ少将殿トヤ聞エケル上臈女房ノ年十六七計ナル容色無類心様優ニヤサシク坐シケルヲ兎角申下ノ先己カ養君ニシ奉リ御装束女房達ニ至ルマテ様ニシツ主ニノ語ニ兵衛佐殿ノ方ヘ出シケルヲ義興元来好色ノ心深カリケレハ無類思遣ニ一夜隔テモ千年ヲ経ル心地ニ覚ケレハ常ニ隠家ヲ招ントモ [illegible] 混ケタル式ニシノ其方様ノ考十ノ五ツリテシノ何心思 [illegible]

夜計モ忍ハスミし ○ 大勢ニテ御通リ候ハハ人見咎メ奉ル事モコソ候ヘトテ作ハ郎従ノ[illegible]更ニノ皆披ニ鎌倉ヘ遣シタリ 世良田右馬助 井ノ彈正忠 大嶋周防守 土肥三郎左衛門 市河五郎 由良兵庫助 同新左衛門 三十六 南瀬口六郎僅ニ十三人ヲ打連テ更ニ他人ヲハ不雑ノミサ乗タル船ニ年ノ矢口ノ渡ニ押出ス也

○ 新籠川 原ノ東ナ 遊佐ヲ出テ上洛ス 廿四ノ十二ウ
○ 天下ノ人目ヲ驚カサセントテ金百両ニテ作ナセル三尺八寸ノ太刀モアリ

○ 救

○ 坂東声ナル道誉 卅五ノ十二ウ

國土乱ハ君何ヲ安カラン 百姓苦ンテ四海逆浪ス 同上

一 日本紀当帝神武天皇ハ六年ノ紀ニ

湯武ハ火ニ投身桑林ノ社ニ祭ル 太宗ハ蝗ヲ呑ミ園囿ノ間ニ任ス己ヲ責テ天意ニ叶撫民
地声ヲ顧ロナラ 王者憂楽衆ト同シ 白居易

○北条泰時栂尾明恵ニ相看ノ間ノ条ニ 我何ントシテカ天下治メ人民ヲ安ンセン 上人答 良医能ク
脈ヲ取テ其病根源ヲ知テ薬ヲ与ヘ灸ヲ加レハ病自ラ愈ル様ニ国ヲ乱ル源ヲ能ク知テ可治給
乱世根源ハ只欲ヲ為本欲心擾ス一切万般ノ禍トナル 宜ヘ泰時云 我雖此旨ヲ人ニ無欲
成シ事難シ 上人云 夫守ノ一人無欲ニナラシマシト思給ハヽ 其ニ恥テ万人自然ニ欲心薄成シ人ノ
欲心深ト許来ラハ我欲直ラヌ故ノト我ヲ恥シメ可給 古今其身直ラヌ影不曲其政
正メ国乱ル事ナシト云々

鍾愛 泰時深ク信メ父義時頓死ノ譲状ノ無キ時 情義時心ヲ思ニ我ヨリモ弟今ハ僧家也ニ
シカハ父心ニハ彼者ニソ取セ度思給ヲ譲ラハシ給ハサルラント推量ノ弟ノ朝時重時
以下ニ宗徒ノ所領ヲ与テ泰時ハ三四番メノ末子ノ分

今迄ハ聊不足ナルコナシ

棲遅 眉ヲ顰ム

隠道ノ地ニナル者 ○無礼 重忠カ下ナ欲印 詩大酒遊宴 抜折羅頭鍼 雙六博弈
図録 内奏ナテハ不直奏ナシ

大史官 秦李斯ニハトテハ今臣下長時ニ伺候シテ君ノ御政ノ善悪ヲ記ス
注シ山月庫ニ収ル知ス

アラ見ラレスノ延喜天暦ノ式アラン氣 詔ノ色代ナト目ヲ引ナ仰ニ倒笑ニ軽煖ス 卅五ノ廿ノ
○唐ノ玄宗カ楊貴妃カ為ニ大史官ノ琛ニ三人ヲ三度ニ殺テ三月三日ノ北ス

○魏徴カ太宗ヲ諫テル貞観政要ノ文

○柔ニ臨ンテシニ覇陵ノ崔回将軍

一、罪紀当宇神天皇八年ノ紀ニ

○魏徴ハ楚ノ舊臣唐ノ太宗是ヲ用ユ　管仲ハ子糾カ親人ナリシカドモ桓公是ヲ用ヒテ
○秦ノ将軍章邯ハ卒ヲ将ヒ兵ヲ率テ楚ニ降リシカド項羽是ヲ以テ大将ノ印ヲ不与
項伯ハ鴻門ノ会ニ心ヲ合テ高祖ヲ助ケタリシカドモ漢ニ下テ後是ニ諸侯国ヲ授ク
○人間ノ栄耀ハ風前ノ塵　楽天
○浮声ノ　皆浮声ニテ…　廿ノ十九
○子謂顔淵曰用之則行舎之則蔵唯我与爾有是夫　子路傍ニ在テ曰
子行三軍則誰与　子々路ヲ諫テ曰暴虎憑河死而無悔者吾不与也
必也臨事而懼好謀而成者也
宗ノ紹帝元ノ光宗帝ノ時ノ
○羊ノ玄文字ハ點ニ王ヲ書ス　懸針
羊二ノ角ト一ノ尾ヲ失ヘル也　玄ウヤニン

相如破壁風寒ノ夜衣絶リ
劉伶ガ乾鍋ニ薪尽テ朝飡空シ
○豈如匹夫匹婦自経於溝瀆而莫之知乎　管仲…孔子是ヲ塞ヲ…
○楚ノ屈原汨羅ノ澤ニ吟テ家人皆酔我独醒　世ヲ憤テ漁父笑テ衆人皆酔何且糟ヲ喰テ其醨ヲ…
○毀誉ハ非善悪人間ノ用捨ハ在貧福ニ
○嚬　ヒソム
食飯ハ飢ヲ止　カハユキズナル遊戯ト其ヲ欺ケル者
光ヨリ攻日宇　光武帝時

一男光孝帝神天皇ノ二年ノ始ニ

備テ太子モ人ヲ起シ此国ヲ絶セシテ本ノ人可恐ル……諫公……

鐵炮トテ蒴ノ猛ナル鐵丸ヲ迸ル事アリ

春日野ノ神風延喜ノ昊大島氣比ノ両躍稲荷山ノ名婦此處ノ猿

清涼公金剛山ノ大陰両界曼荼羅胎蔵界七百余尊金剛界五百余尊年ノ加ヘ余リ

五山第二ノ招提聊爾ニモ壞災集福ノ祈…ニ冊セウ

讒 武将感状記 一ノ巻

大猷院殿御時榊原式部大輔常ニ士ヲ待ツ加藤肥後守清正福島正則

天下ノ武功ノ浪人ヲ招聘シテ扶助シ面々身上ヲ成ス辺ノ中ニ居トス聊爾

ノ職起ル時我所網州越州ノ手ノ鑑ニテ有鳥…息

左五門佐ノ事モ力限ノ働カニシテ功アリ

辭兼息マスミソテ之 湟際 城ヲ居ル是ヲ鑷 女垣 鋭眼

一 伊達政宗卿 中富屋傳ニ来テ鑰書ニ大閤公

秀吉加刀ヲ政宗ニ持セ一人ニ立テ後ニテ不顧正宗ヲ

蟻蜘虫トモ思ハレヌ體ナリ

一 開化…神天皇八年…

清正蔚山ニテ攏来ラズ粮尽テ馬ヲ殺シ吹ヒ 漢南(カナン)ハ亦粮道絶ヘシニ
兵ソレテ帰ル 漢南ノ字誉ハ僅ニ一ツモナシ 東郡ノ汚モナシ
一 葉盧謡(キヨフ)ラズシテ相為縉(シン)紳ヲ以テ相酬ル者 潰乱セテ必然(ヒツ)之
兵ハ詭道ナリト 孫武ガ説ヲ別シテ 国郎ノ主コレヲ思ヘ
一 斎藤道三ハ美濃ノ土岐ニ仕ヘ 又小身ニシテ町ハヅレノ草庵ニ居リ 内下(ロハ)
ケレハ 鎗ヲ掛置道ナシ 二門外ニ竹ヲ立 皆ヲスキテ 鎗ヲ其中ニ
入ロヲ封シ 帷カラフセン 土岐殿鷹ニ出テ 鷹ニ 枝ニ居
カリメリ 道三怪テ故ヲ問 道三實ヲ以テ對 土岐感稱シテ
心懸ギヤ 拳ナシテ試ルモ 終ニ静謐トアル
是ニ於テ謀ヲ起シ 土岐ヲ擯出シテ美濃ヲ押領ス

外貌ハ蒼忍思讃ニ其ノ内心ハ實ニ頼信明所逆ニ子
虎質狼心 務ノ修飾
乖戻(カイレイ)ノ兵 順和ノ師 ...
一 四金子馬 嵬 ナリ 中ノ人
一 源右大将ノ 三帯 壮力ノ者ヲ召出シ 星隣ニテハ
御馬ヲ 相従フ 是ヲ中ノ人トス
座 信之ニ
風ロロマン 悦 流子 山中 應 ...

酒井

天下分裂（レツ）

師旅（リョ）連（ツラネ）大患ニ正兵奇兵右

軍花軍ノ将奪フ敗

蹟基ナリ

五卷

拘攣（カウレン）シテ生リシが

悔（オ）

虹窟（レカリ）ル

奸細（シヒ）

卒然（ニワカ）

躁

一朝夕謀叛ヲ起シテ信長ヲ討得タレドモ首尾ヲ遂ケズ秀吉ニ

カキラズ雖ニテモアレ

光秀ガ家護ヲ後ニ人ヲ謀ン

信雄秀家ニ属シテ降参シ

秀吉ニ其気モナシ

私市（キサイ）

城ニ越ヘ中国ニ帰城

五 義者ニ激励スル

誹（ソシリ）

遮轄（イルル）

危（アヤフ）

一 松永弾正少弼久秀ハ三好長慶ガ臣也右筆ヨリ経上リテ
家老トナル信長久秀ト入魂ス信長久秀ニ對シテ日本天下知将
豪傑之然レ氏一ツノ疵アリ久秀請問信長言玉ハズ久秀
仰ヲ頼ミサラバトテ人ナキ所ニテ云ハントテ人ヲ退ケテ
旦下大身ニナル道ニ勝シ云是ヨリ久秀異心ヲサシハサンテ
遂ニ三好家ヲ滅ス

鞅(かんび) 馬ー

安田作兵衛

明智ガ士信長ノ陣ヲ破ル
鎗ニテ刺ス後ニ寺沢志摩守
鷹高ニ住ス八千石シウリ

平野権九郎

○三好実休

薄ニマジル蘆ニムラ

小次郎五年三月五日詠也

実休三好長慶之弟入道実休和泉久米田ニ高政根来法師
ト戦テ実休打死ス長慶ハ飯盛城ニテ連歌ノ興行ス其
時前句アリ

薄ニ交ハ

人ニ附郎ノ康ガ思ヲ果スル所ニ実休戦死ノ告アリ

封書ヲ開テ見シニ不言ニ其ヨリ信ニオキテ目ヲ閉テ

思案ニテ 古沼ノ浅キ方ヨリ野トナリテ

一 鎗化第神天皇八年始ニ

備ニ太子ニ入テ起テ当国ニ伝セシテ本ハ人可思死ヘシ諫ム諫ム而了経ナー是ト

実体南方ニ討レテ今日重来此句ニ止ムヘシトテ即時ニ兵ヲ
催シ武者所ヲ遊シ通ニテ度花カリシカトモ只ニ勝テ九ル

没収（リヤウカレリ）ヲ難ム　未得ハ大方偏出処無恐海長ク手負

同随墨衣　蕗屋野郎

ノ法師ノ姿　債賃ニ取ル

ヤブレ笠ヲ頭ニカケテハコジキノ体天下ニミテハミニノ箱ニ

遍参僧　人生ハ朝露ノ晞（ヒカラ）ヲ待

猥（ワイジン）褻ヤケル

晞（ヒカワグ）

関東之里之　遠島掾道ニ表道ヨリ行ル卜云　又時雨石馬取得ニ加ヘ

喜明ハ仕ヘ刑罰ラ行ハルト　金吾善門ハ徒

又三御祖四四　又左尾居旦公告百居ハ徒ノ又　福島正則

外道心ニテ　妙心寺大龍和尚ノ會下

居テ　浩律法衣ヲ行エ刀ヲ得テ去ル

一閑平化学神天皇八十年ノ紀ニ

ヒフクハノ偉文無ム鉄午ト云

列寔ショク人名 倪 睨 人名 剕 顫 𪈐

斑 驛 嶷 遜 陵 陸

瀨 憲 鄮 傳 屚 鈾 蔛 斛 窩 ヒソカ 滔

矅 鞴 跔 僥 佃 優 僢

罵追 遲 貪 貿 衍 儀

雒 袒 舛 睬 齊 奈 𧮪 𪆰 馬

磨 簺 𧿹 擂 繙

一 舉 化 宗 神 天皇 八年 紀

仏ノ太子モ人ヲ起テ此国ヲ治センテ奉ル人可思死ト諫ム諍ム論強ニ…

〇魍魎（ワトノ）キモタマリテ

兜（ト）昧（マイ）ノ樂 今豊後ノ殺ナリ 瀉帝長之 嫉妬隔塞之

什卜筮ハ疑トテ疑ヲ定ムトテ疑之

春秋ハ世家ヲ取（キザム）ル大義

佐名藻屑 モクヅ

文字 モジ

風情 フゼイ

キコエ

韓語萬代

ぬり あらたまのとしのはじめの年をこえて

道のあゆみのかはらぬ事を祈

白文 昆明春水満テ亀尾虫（トキヌカリ）鼻ハ吹沫ヲ

一 第十代崇神天皇六十八年始之

一カニ
辛乃崎有伊久里奈曾深海松生流 海底石ヲ云 浪爾立言乃

○三歳ナル人髪置スル 綿帽子ヲ冠ル 和名抄 廿六年

○綿帽子ハ学ヒとて白髪と成ル根ヲ

古ハ今ノ人ハ全頭ニ綿帽子ヲ着てかみかくし

被ナリ 見記事

○

各居之方 ソシキ名各案 晋接ノ二乃一拝辟邪ノ名案

キワダノ称

大山樹

楊梅皮 各粉末 焼酎 ヒメノリニテ練リ付ル

本十三乃 桐ノ木黒焼ニシテ又ニ 焼酎ナキ時ハ酢ニテ

姫糊ナキ時ハ温飩ニテ吉

一 日本紀崇神天皇八年ノ紀ニ

六済府

〇諸國ヨリノ貢ハ帥ヲ弐監典防人（サキモリ）ト四部（ヨウベ）

ヒタル名モ官アリ

上 帥ハ従三位 大弐ハ正五位上 中弐ハ従四位下 少弐ハ従五位下

中 監ハ正六位 判官 従六位下 少監ハ従六位上

下 典ハ正七位 少典 同

〇常陸上総上野ハ親王ノ御任國ニテ此三國ノ守ノミ大守（ダイシュ）ト申ス

當時國守ヲ大守（ダイシュ）清ト申ハ唐名ニテ刺史使君ナドヽ申ス

親王ノ御任國ニテハ介ヲ以カミト申ス

上総常陸上野介ヲ任ズハ三介ト云

〇陸奥三浦介千葉介秋田城介（アイダノキノスケ）ヲ三介ト云

三浦介ハ相模介ガ三浦ニ居住シ遂ニサル名ヲ得ル人氏有名ナルニテ

國ノ介ノ任ヲ勤ルニテハナシ千葉介モ同様

秋田城介ハ出羽介ガ秋田城ニ居テ夷冦ヲ拒守リシ故視帰ル

秋田ハ元ト齶田（アイタ）飽田（アキタ）モ共ニアイダト讀ム 本名秋田

城介ヲアイダノキノスケト讀ム故実ニ見ユ

一 日本紀崇神天皇ノ六十年ノ紀ニ

平田青ノ石〻生ノ析ニ示

○波穗 波ノ白ク高ク立サマヲ云　ニ云
風ニテ穗ト云ソハイチビル名着
見ユルヿ也　萬葉説

○善コトニ禍事イワキ禍事ニ
マガ
悪キヿスイツソ世中ノ道　宣長

○天之羅摩船 アメノカガミブネ
天ハ天之羅摩天之真折ナド
例ニ添テ云ヿ
カガミト云ハ俗ニガガラヒトモガガ芋ト云出羽秋田ナトニテハ
ゴガガイヨト云即チソノヤト云綿ノ実ノ蔓草ノ実ヲ
二ッ破ト船ト云舟ノ様ナルモ舟也　少名彦命ノ舟ニテ渡リ玉フ事ナリ

○内剝 ウチハギ
丸ナガラ皮ヲ剝タルヿ

○文

○延田比古 山田之曾富騰ノヿ
神名　少名彦命ニ舟ノ流レ
大国主神ノ　村名ヲ云ノ避ヒヘシ神也

○高橋連活日
此御酒ハ吾ミキナラズ和ナス大物主ノ
醸シ御酒イクヒサイク　活日カ歌也ヿリ
大三輪社ノ掌酒也
日本紀崇神天皇八年ノ紀ニ

備テ太子ミ入テ起テ此国ヲ總セシテ奈ド人可思所云ト諫ム詠ム孫強船ニト云ト

〇常蔵 床依国 館屋ア見 何時ニテアレ遠ク海ヲ渡リテ往ク国ナラニナレバ 白玉国
外ツ国トコヨ国ト云古言ナリ ヨモ出セル也

鳥虎説
迷界ノコトヲ 云 難キニソハ 俗国ニテ云 隠ト 同 故也
日本紀垂仁帝 常世国ニ 田道間守ガ遣シ 是常世国ハ 神仙
秘区 俗非所臻ニ 秘区ハ 則 迷界ノコト 上平田説

応神紀
広情人情御神 須須許理ト云人ノ献ル御酒ニ御酔アソバシテノ御製
須須許理ガ醸シ御酒ニ我酔ヒニケリ 事和酒咲酒ニ我酔ヒニケリ
スズロニ御出アソバシテ御衛ナサレタ御杖ニテ大坂ニ在ル大石ヲ御打ナサレタルガ其ノ
大石ガ走ツテ避ケタト申コト 其ノ代ハ諺ニ 堅石避酔人也

〇袋中子 清輔ニ夜行逢中誦文歌 応神天皇 歌ヨリ出タル也
〇カタシハヤ エカセニクリニタメル酒 手エヒ足エヒ我酔ヒニケリ
堅石スラ走リ避ルコト如ク 何ナル恐シキ物モ我ヲ怖レテ逃去リ
近ワカレトノ意ナリ
鳥虎ハ信ジテ其ノ醸ツミタリ云々

釈尊出家ノ昔 羅睺羅 胎ニ宿ル 父浄飯王妓楽ヲ為シ慰メ給ヘドモ 耶輸陀羅 酒情ヨリ淫欲情起リシユヘ 仏 後ニ 酒戒ヲ制ス ト云々

〇大洗磯前 常陸鹿島郡
〇酒列磯前 両社 延喜式神名帳 名神大 也
斉衡三年十二月庚戌朔戊戌 常陸国上言ス
大洗磯前ニ神降 両怪石 水次ニ在 又廿余ノ小石 両石ノ左右ニ在

大宝令知ノ中ニ見ル古名也ニシ　上文徳実録
今ノ薬師ト書ク處ヒ云　薬師ト云ナリ

皇朝三年神祇伯
吉田ノ祖也ニシ

○吉田家ノ祖平麻呂ト云フ
薬師長ハ永名ト云フ　天平年中ニ書紀ニ
薬師長ハ吉田家ノ薬

○水腫　薬ヲ煎シ水ハ门ノ水流レナリ波テ...

○マジナヒ
禁厭

○医師　医者ハ漢語　皇国ノ言デハ正シク云ヘハクスシト云ベキ事クスシハクスリシト云ヲ
詞ノ略シテクスシト云事クスリト云詞ハ船ノ字ヲ略シテクスシト云稱ハ
船傳ルガ本デ有リ互ニクスリト云名ヲ今ノ有リ
苗薬和名エビスクスリ一名ヌスシクスリ　皆ヌスミ薬ハ呑薬ト云事
古ハ船ガ年テアル故殊更ヌスミ薬ト云ナリ　以上平田流

○湯液　清名酒ノ事　○醪醴　濁酒ノ事
薬ノ始メハ酒ト云フ事　○醫ノ字ハ酉ハ即酒也　医ヲ醫
ト御ハ上ニモ云如ク古ヘハ巫祝ノ事ヲ薬ノ醫傳
禁厭ヲ以テ療治スル為ノ故ニ巫ニ倍人ヘテ醫トナリ

桂枝湯 [illegible] 柴胡湯 [illegible] 湯ニモト云フモ見ヘ

呂氏春秋 說文ナドト云書ニ 巫彭作醫ト云 世本ニ 巫咸作醫トアリ

殷ノ代ノ人

巫履 巫咒 巫相ナドト云者カ有テ 巫盛 彼巫覡 後テ是ヨリ山海經ニ

ニ立テ皆神ニ近ト 郭璞ガ注ニアリ マジナヒ被術ヲ以テ

病ヲ斎癒ス故ニソレヲサシテ巫医トモ云フ物ニテム

咒禁博士 咒禁道ト云ヲ [illegible] 典藥寮ヘ 醫者ヲ請居

シテアリ 皇國ニテモ唐代ノ制ヲ用ラルト〻

○エビス 常ニ [illegible] ルモノヲ エビスト云 エビ乃膳 エビ乃低

○夷大黒ノエビスハ 少名比古那尊ノ事トモ [illegible] 島流

人ノ咽中ニ咽ト喉ト道二ツアリテ 喉ト云ハ 肺ノ臓 肺ノ臓カラ續キテ天地ノ氣ヲ鼻ト

口ヨリ肺臓ヘ受納ム故ニ気ヲ受ル管ト云 意ヲ以テ気管ト云 通ト云

咽ト云ハ胃府カラ續テ是ハ飲食ヲ受納ル道ニ通テ胃府ヘ食道

トモ云 気管ト胃管トハ ウシロ前ニヒツ付テ居ル物也 気管ハ呼吸ヲ

致シテ居ル故 礙ク咽テ居ル 胃管ハ 軟ニテ此物ヲ呑下ス時計リ

咽テ常ハヒツタリト 咽テ居ルモノデム

頭 竪 硬 軟

速須佐之男大神 大神

大名牟遅 少日名 皆右

○夫人有ラハ語ルニ之以テ死ヲ而不ル畏レ者也日夜之所為則取ルノ死之道
遇フ半ニ矣　張文潜ノ語

○養ハ心ヲ莫シ善キハ於寡欲ヨリ　孟子

○医範提綱　蘭書翻訳
解躰新書ノ事ナリ

命
心窩 キウビ　鳩尾之
膀胱 ボウクワウ　小便府也
動脈
尿道 ネウダウ
溲血ノ滓 カス
鷹ノ骨 カメノコウ
幹 エダ

○寧ロ為ニ十男子ト莫レ為ニ一婦人ト
寧ロ為ニ十婦人ト莫レ為ニ一小児ト
医書ニ見ユ不知
○療ス寡婦尼僧ヲ異ナリ于妻妾ニ
壜 トクリ　陶器

○妊娠ノ辞
峻

○耆婆　父ハ印度祇國ノ王萍沙王
母ハ天竺維耶離國ノ婬女ナリ柰木ヨリ生レ故ニ李女ト云容貌
端正ニシテ天下ニ双モナシ故ニ國王ニ得テ桃ノ中ニ羅閲祇國萍沙王ニ召サル
宿シテ男子ヲ生ム生レナガラ手ニ針ト薬嚢トヲ把持テ生ル
医王ナラントテ耆婆ト名ヅク仁王経ヲ採シテ医術ヲ学ブ

○張機　字ハ仲景　後漢ノ人
傷寒論

○扁鵲　姓ハ秦名ハ越人　史記
號ト云國ヘ行テ其國太子ノ謹ヲ察セシコ
齊ノ君桓公ノ顏ヲシテ患ヲ察シテ
腠理 ソウリ 病

臍下ハ氣ヲ練リ畳修法長生方

毎夜寝臥ニ入テ手ヲ握ラズ前ニ御向テ両脚ヲ揃ヘテ強ク踏ノバシ總身ノ元氣ヲ臍迫カラ氣海丹田ノ穴及腰脚足ノウラ心マデ充ミシメサテ他ノ妄想ヲサラリト止メテ指ヲ折リ息ヲ計ルコト百息ニシテ其諸ミシメル力ヲ緩メ暫有テ又如斯大抵毎夜此所行ヤ四五度缺サズ修スルコ毎月五七日[illegible]元気張

[illegible]

西行

ねがはくは花のしたにて春死なんそのきさらぎの望月のころ

[illegible]

蘇鐵之事

○備前岡山ヨリ一里許南ニ高嶋ト云島アリ方五六町周囲アリ神武帝ノ祠アリ[illegible]

丗丁神祠湖参云随テ浮洗スト云又ワ松樹アリ古枝アリ皇子其指[illegible]

地中ニ入[illegible]是ヲ[illegible]

畢瘡鞭胸満（ヒヒャク）

辞ノ石室之称アツムル

拘鬼神者不可与言至徳ヲ　史蔵列伝

信巫不信医不治也　史記扁鵲伝

況執ナルハ[illegible]

如斯哉解ヲ術ニ力救テ人ヲ獲ル一哺ノ料ヲ

何ヲ見テ学ハ神農辛中ヲ天師信景説

和俗[illegible]天台止観[illegible]ヤブクスシト云ハ[illegible]

○大黒ハ天国主ノ神

此神影ノ槌ヲ持テ[illegible]末槌ニ人モ[illegible]

広牙ノ状数百年前ヨリ[illegible]形状将[illegible]

[illegible]神農[illegible]

槌鎚ナドシテモ悪寄テ道ニ槌フルル[illegible]ヤタ[illegible]

[illegible]神ト[illegible]寸[illegible]

[illegible]風ハ[illegible]

○夷神ハ大名牟遅神[illegible]

[illegible]野子神[illegible]

○神農氏百草ヲ嘗テ其道始ル

漢ハ劉安ガ淮南子ニ[illegible]

漢陸賈ガ新語曰民人食肉飲血衣皮毛至神農以為行虫走獣難以養民乃求可食之物嘗百草之実察酸苦之味教民食五穀

脊ノヘキ神等オキテ外國ノケンキ神ニテ脊ノ蹟人　宣長

秦医緩ガ丁左傳成公十年ニ知ニ晋景公病求医于秦秦伯使医
緩為之未至公夢疾為二豎子曰彼良医也懼傷我焉逃之其一曰
居肓之上膏之下若我何医至曰疾不可為也在肓之上膏之下攻之
不可達之不及薬不至焉不可為也公曰良医也厚為之礼而帰之
逢

トアリ［illegible］

老大ノ施口

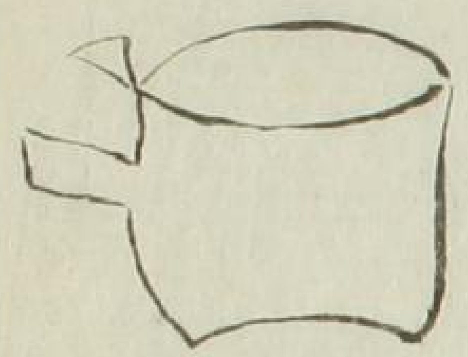
合乙郎ヨリ神経ト云

脳（ナウズイ）髄ハ脊ヨリ脊髄トシテ背骨ノ中ヲ貫キ［illegible］

［illegible］

血絡（ケツラク）

神経ト云ハ［illegible］



［illegible］

○御厨島 丹後田辺府ヨリ三里許沖ノ島アリ 十四五丁四方ノ島ニテ 茱萸 枚解ノ白水アリ 又竈鍋釜モ備リ故ニ難風ニ逢ヒ廻船漂流ノ船ナド此地ニ 着寄ラ取リテ命ヲ繋ギ 又船ヲ修ス ルモ有リ 依テ此 島ニ入テ五月七日トテ同ジク後ニ帰ル 此山ニ 椿多シ 其ノ 實ヲ取リテ燈ト 成ス 社ニ 供ス 故ニ 此 島 ヲ 戴 ス

揺ルヽ石 肥前国上ノ… 弘法大師 …三里程 人 車 ニ テ

○堂ノ島 下毛国 … 社村明神ノ社地ニアリ 壬生宿ヨリ一里余アリ

○大沼 羽州米沢 … 山 … 大木 … 弘法大師 …

○敷札 猶寝之所 … 地而 … 之福 … 基知足

放蕩軽慢 適當情 踈 懶 ハツソリ 背子

○ム 善悪 …ト云 ツタアニ ト云ヘ トシテ 言フ …

○ム 魚ノ … 訓 … 故ニ方ノ反對 … 牲ニ … 轉 …

○ム キ 無聊 … 縦 … 濵ノ … アキ ヨ キ

△鉦の起りの事

○詳ならず さなぎは

仁徳紀 [illegible]（すゞ）

青銅之鐸 [illegible]（さなぎ）

サナギハ鐸とうけさし某

[illegible]なると鹿の鳴も

鐸の古名のよし見えたりや

○花の樂ハ三代目市川白猿か見記 今日ハ川破[illegible]のみしく[illegible]のゆかしく[illegible]すよ

芭蕉翁もて[illegible]てほと[illegible]て[illegible]も[illegible]て色自ら小云く[illegible]の

細の[illegible]をきられ[illegible]よ[illegible]かに[illegible]もて[illegible]と[illegible]

[illegible]しと[illegible]行[illegible]りらく

○大淀か中 平[illegible]鳩居[illegible]溪 [illegible]（ハジメテ）[illegible]荷[illegible]大澤[illegible]

[illegible]と云[illegible]

[illegible]

○[illegible]澤[illegible]山[illegible]の[illegible]輔の[illegible]まで 字輔 雪車

輔のたきなんシ 修羅（シユラ）トモ云 大石[illegible]

○割（わり）氷 [illegible] 割テ[illegible]（ウル）[illegible]

ワルギツ[illegible]ハ百ノ玉岩[illegible]

確固トシテ

奥州白石[illegible]片倉小十郎[illegible]岩下[illegible]白鳥明神の社[illegible]岩の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]矢野[illegible]郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]人

[illegible]也

高岡なとおやまて[illegible]やと思ひ[illegible]

[illegible]御[illegible]

[illegible]

[illegible]白えの[illegible]

[illegible]

相[illegible]封[illegible]

[illegible]御[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

岩[illegible]

[illegible]

日蓮上人

蓮華寺号　後西園寺帝綸旨

菩薩号　霊元帝勅許

後堀川院御宇貞応元年壬午二月十六日安房国長狭郡東條郷片海市川邑小湊浦ニ生ル幼名善日丸 天福元癸巳年五月十二日同郡清澄寺道善ニ随テ十二歳時薬師丸ト更ム 同年十月八日剃髪シテ蓮長ト号ス 仁治三年廿一歳[illegible]光[illegible]明寺[illegible]叡山[illegible]七ヶ寺[illegible]建長五年癸丑三十二歳[illegible]父母[illegible]日蓮ト更名ス 弘安五年壬午十月十三日寂ス寿六十一 身延山ニ収ム

武州池上ニ

父貫名次郎重忠

母清原氏

[illegible]

六老

日昭

日朗　池上本門寺

日興

日向　身延山三世

日頂

日持

中老僧

日家 [illegible]
日辯 [illegible]
日傳 甲州 [illegible]
日秀 [illegible]妙福寺
日禮 [illegible]
日忍 [illegible]
日常 下総中山法華寺 [illegible]

日淳 [illegible]実相寺
日法 [illegible]光長寺
日位 [illegible]
日合
日高 中山ノ二世
日貫 [illegible]
日門 [illegible]
日[illegible] [illegible]

天目 武州品川妙国寺
日得 [illegible]
日賢 [illegible]二世
日保 [illegible]

九老僧

日印 [illegible]
日澄 [illegible]二世
日[illegible] [illegible]

日行 [illegible]
日像 [illegible]妙顕寺
日典 [illegible]

日善 [illegible]実相寺
日範 [illegible]
朗慶 [illegible]

[illegible]内証本法の[illegible]を[illegible]
[illegible]て[illegible]
[illegible]下方涌出[illegible]の[illegible]

○
文永八年辛未九月十二日
逢上人難 龍ノ口御難
佐渡[illegible] 流罪

○蒙古元 [illegible]襲来 文永十一年[illegible]

○漢土燕の太子丹秦ニ質トシテ[illegible]
[illegible]白[illegible]ベカラズ 但馬ニ角生ジ烏ノ頭白クナラバ[illegible]
[illegible]ニアリテ 丹[illegible]仏[illegible]ト祈リ 天[illegible]ニ[illegible]
白頭ノ烏[illegible]ノ前ニ来リ[illegible]

此伊国[illegible]の輝きて頭白き鳥ありて 行基
山鳥ノ白くして[illegible]
○高祖飯地曼荼羅 [illegible]
○帝室舊ク大金玉書衛國ト[illegible]ナレテ衛[illegible]
[illegible]此國大王波斯匿王ノ白玉子祇[illegible]
[illegible]ニシテ[illegible]此[illegible]
[illegible]
汝ニ[illegible]長者[illegible]

[illegible]テカノ[illegible]
ヲ[illegible]
[illegible]コレン[illegible]
地ニ映ジテ[illegible]
[illegible]
マシヤト[illegible]信カシ[illegible]
此国[illegible]
[illegible]
金[illegible]此地[illegible]
長者[illegible]揮リ君ハ[illegible]

野晋天石ニ大宰ニ攸東ニ而ト云ヘハ女子
セヒセリ金晶㓕メ林ホシテ桂青樹ニ
須遣余利柳エ与フヘし
~~津国家山中土見之ニ~~
是七母山城ヲ取ナゞハ右蓋ニ卯能郡ヨリ
字四羊の声ヲ出シテ布留在ニ隠ヨリ

好蒐国稍筆搜序

○佐比乃河原 山城名勝志佐比の里又ハ之 三代実録貞観十三年閏八月 勅有之曰 道葬の地と定めらるべし 佐比寺ハ正在 九原是道葬之草

吏留拾於橋頭ニ立ニ廿子作比乃河原を見遣すて土同の草ちれとし

正地成ノ斗ミヒ化益しほ 山葬所中ち石像こそ安い

石像の化えいそこまでゑとよより 言切ちし人よ女人令ふ ちよもしい

○佐山 歌枕ニ山名字ノ尻佐山高大和卯 高村ある 東信濃境十三里

高屯信濃まで十七里西三尺濃境郡上陸前加賀境ら越

ひ神中信十四里して 岡の中井ちりとし

○讃岐字比羅ニ十子ありし 薪子四十れんとさる 阿波オンドセと云ふ

過て舩とよるんた州と浅井 此也氏二三里ゆるぬらん上ち子了るれ

御く屋と称しものをさとおや[illegible]やまの[illegible]て[illegible]
遠ひかり[illegible]海[illegible]そ[illegible]て[illegible]海飛と計[illegible]て[illegible]
所の[illegible]の[illegible]虎の[illegible]の[illegible]書
蝶[illegible]を[illegible]ていくは[illegible]来[illegible]十三四才の[illegible]の
して[illegible]と[illegible]見[illegible]して[illegible]向ひ
ヨイハンコニシレ[illegible]こえ[illegible]て四方[illegible]
[illegible]の[illegible]や[illegible]か[illegible]中[illegible]て[illegible]
[illegible]の[illegible]すや[illegible]
[illegible]越後[illegible]
[illegible]して[illegible]
[illegible]の[illegible]て
新[illegible]清音して[illegible]

海胆(こぶ) さるべつたり

越後国の俚言に蝶をベツタウといふ。海胆のほとりにはサカベツタウといふ隊
湧出る羽化[illegible]大なると[illegible]中 鵜カハヒラ 新潟
此川春の[illegible]白[illegible]
[illegible]
[illegible]川下[illegible]上[illegible]流れ下り
[illegible]白[illegible]天明
[illegible]他ん

○鮭ノ字

鮭 [illegible] 鮏 [illegible] 鯎(ハラゴ) [illegible]

北国の鮭は初秋より北海を出て千曲川と阿賀川の両大河に溯(サカノボリ)子ヲ産卵テ[illegible]

てハ毎年九月中旬ヨリ河ニ上リ十月ニ至ル其間 八九十 漁人ニ捕ヘラレザルハ海ニ歸ル
沙中礫ノ交ル流ノ絶急ナラス清キ流水ノ所ニ産ス其子ヲ産シモテ岸ニ沿テ[illegible]
産ヲ一ヶ月ヲ至リ浮サセンナトセサル[illegible]白鮭ニシテ[illegible]
鮭一種ノ産ム[illegible]白鮏ト[illegible]ト[illegible]作ル[illegible]ナレバ[illegible]中ニ
尾鰭ニテスクイカケテ砂ヲ掘リ一穴ヲ流サルヽコト[illegible]左右ノ
[illegible]ニテ[illegible]ニシテ[illegible]此ノ[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ノ子ニ不相ニ産ム中[illegible]ホリ[illegible]
[illegible]年人テモ[illegible]子[illegible]ラズ再ビ[illegible]ニテ[illegible]リテ河原ヨリ[illegible]
[illegible]化シテ鮭トナルコトシ

[illegible]（サラゾ） 魚[illegible]
[illegible]ニテ[illegible]ニシテ[illegible]ヲ[illegible]セル[illegible]一モ[illegible]

ロ 鹽澤[illegible]魚[illegible]長サ十丈[illegible]
[illegible]ニテ[illegible]作リ[illegible]遠[illegible]

ロ 河山大[illegible]
ロ 山方言 雜水ゾロ 天気の好[illegible] 男根サツメ子 [illegible]

其採ノ[illegible]ハ[illegible]ヲ[illegible]モ白膳ト此ハ天明ノ洪水ノ絶ル此國ノ方言
ロ 鱗ハ諸書ノ羽化スル所ノ大ナル者ト云小ナルヲ鰲ト云テ[illegible]
サカベツノウヲト云[illegible]
草石ハ鱗ニ化ス
[illegible]石鱗一名沙氣ト云モノ山川石上ニ附テ繭ノ子ノ春開化シテ
小鰲トス水ニ生ル[illegible]

ロ 鮭の字
鮭 新撰字鏡 鮭作[illegible]
ロ 鮭ハ和名抄ニ作鮏ノ字ヲ 鯹ハ[illegible]
鮏ノ字[illegible]ニ似テ清[illegible]春生レテ
[illegible]年ノ内ニ[illegible]故事[illegible]名[illegible]
[illegible]傳ヘ子孫ヲ
新撰字鏡ニ鮭ノ字ヲ出シハ鮭ト鮏ト鮭ト字同シ[illegible]
傳ヘシモシルヘカラズ鮭ハ河豚ノコトナルツヤ下宗[illegible]ヲ鮭ト鮏ト
[illegible]ベ出セリ

ロ 鮭ノ食用 鮝（サシミ） 鱠 鮓 薰 炙 醃（[illegible]） 鹽引トモ 膾 膓（ハラワタ）[illegible]

又頭骨ノ澄（スキ）徹（トヲル）備（トコロ）ヲ氷頭（ヒヅ）ト云テ膾ニ佳シ子ヲ鮞（ハラヽゴ）ト云

年中味甘鹹毒ナシ主治中ヲ温メ氣ヲ壮ニス多食ハ疥ヲ生ス

○我国ノ鮭ハ初秋ヨリ北海ヲ出テ千曲川阿賀川西大河ニ游泳シ其子ヲ産ント之

其ニ男鼻随テ之ヲ赤ル泝ル凡五十余里河ニ在ル一五ケ月余リニ年間

八九十人ニ捕ル卜ヲサレバ海ヘ歸ル故ニ大小アリ中ニ出ス沙小石ノ交ル流ヲ急ガラヌ

清キ流水ノ所ニ産ム中ニ水中ニ沙ヲ堀リ其底ニ産ヲナス余リ澤山七寸長ニ尺余リ

數日ニメ逆テ作レシヅ又リ歸レバ女鼻其中ヘ歸テ一粒ヅヽ産ム產ヲ以テ

男魚己ガ白鮮ヲ彈ソ着ル直ニ女魚男魚堀ノケタル沙石ヲ左右ヨリ

尾鰭ニテスヽヒカケテ鮞ヲ埋ム一粒モ流サレヌヨウニセズ其上ニ産スルコトハ

又ヨ〻魚ヘアカリテハウミ流テ〻ニ。九月ヨリ十月沙中ニ行鉄

ヨリ眼ノ〻ウム流ル沙ニ礫ヲ入リ〻マス

○偃雪 前陰（サイカリ）花ノ御ふ相なしく作る字の文字いをもと

○歳場 三拾五

○三ケ集

○雜

○黠（カツキ） 猥雜

巇（テウ）水盤

笔

○信長ノ時ノ大御 〻

一子ニ二子皆達娘御幾世（イツヨ）ニ無若文無讀役

寛徳九年文廟歴代朝鮮人来朝之
将軍家贈物の品々
白銀千枚　江花十丁　彩色屏風　朝鮮国王より
長刀一振三人持之　具足一領八人持之
加賀国郡司より持出朝鮮人十二人ニテ漸々持出ト
○蝦夷人富士湖中よりリイシリ山ト云

□箕田三箇ト云　高女郎　廉婦ハ荊棘ごとく
廉家の庶子まじなる松生ふる藪ハまじらぬあしらすや
○枸杞　因機活法　竜宮之句黒竜身軽飛翠上
○人麿の子孫石見の高津ノ社　其所の郷人柿本其孫
農家ニテ名ヲ暮ス名羅丹ト
云所作似老ナル
●九月蝦
蝙蝠全六枚ハ蝙蝠の飯食より
蝙蝠の〆アヤアリ　人世ニ隠ル戸ハ于の〆飛ぶ蹊ニこそ
アリ

○印肉ノ製法

斑枝花（パンヤ）ヲ湯ニテ煮シ洗（アク）水ヲ浣テ干ス
アハカシ唐胡麻ノ油ヲ交テヨシテエルガ最
上ノ製也朱モ色ヲ美シク出ルナリ
唐胡麻ノ油ハ薬店ニ賣ヒサク之

迂（アヤマチ）擬（スムル） 然騰ニ 御陰ニテ他 大騰五両位ニモ賣ク 同人分
其術（ソノトモガラ） 一莊状 此一両位 前々直テ 難儀
[illegible]之 屡雲喚キ出テ疾風不意ヲ起シ[illegible]雪ニ吹散シ
四方ニ吹散シ宣ク[illegible]百万余[illegible]ケガ人
寸隙（スキ）ノ間ニモ許サズ吹イレ佳手人[illegible]
テ[illegible]手白ク雪ニ埋メラルヽ

字

○杼（ヲサ）機[illegible]ヲサ 梭同[illegible]

詩曰厭浥（ヨウイフ）行露豈不夙夜謂行多露

厭浥ハウルホヒ[illegible]露ノ多ケレバ夙ニ起夜ニ往テ[illegible]居[illegible]

ヌレン事ノ[illegible]トテ[illegible]マリニ

此詩[illegible]情[illegible]言カケル[illegible]

識[illegible]

○信長[illegible]討[illegible]

[illegible]毛利[illegible]信長

[illegible]下[illegible]三千

[illegible]下[illegible]新[illegible]せり

信[illegible]出[illegible]次[illegible]

○[illegible]人ハ[illegible]為[illegible]セズシテ[illegible]

[illegible]

○[illegible] 文[illegible]

（カゴ）[illegible]

遠（アヤマリ）

（カミ）[illegible]頭（エビ）[illegible]

氷信（イテル）

[illegible]（セガレ）[illegible]

[illegible]

[illegible]一八幡　東神功后
心作甲冑　西　天皇御姉君
宝満井
茶屋稲荷ノ地主神

[illegible]真言宗　東円寺
高野山ノ金剛峯寺末
同地ハ市谷御門ノ内今ノ大番町ノ北ノ方向
山中此ノ町ノ隅[illegible]大樹アル地是ナリ
寛永年間今ノ地ニ遷ル

〇稲荷山[illegible]寺　臨済宗[illegible]
〇西光山月桂寺　臨済宗円覚寺末
[illegible]連門[illegible]
[illegible]

浅草[illegible]
浅[illegible]

〇三[illegible]ノ天神
七面　同[illegible]人作

[illegible]
七[illegible]山[illegible]寺[illegible]
[illegible]
[illegible]
黄檗派

有諸院殿　光山暁　桂大師
尾[illegible]大円三院殿[illegible]
[illegible]
又[illegible]

[illegible]

小田原にて永禄九年信玄小田原を攻め数日[illegible]
小田原伊勢[illegible]を[illegible]と[illegible]甲州[illegible]を返しける信玄は[illegible]の
[illegible]して[illegible]はしこゝに[illegible]
三つ[illegible]文[illegible]年[illegible]近隣[illegible]こゝに[illegible]
[illegible]まで[illegible]行[illegible]文[illegible]に[illegible] 貞享
[illegible]水に流さんとて[illegible]

女達ニ

[illegible]
[illegible]何[illegible]の[illegible] [illegible]
書[illegible]と[illegible] 新吉原[illegible]九年[illegible]
[illegible]九[illegible]
一[illegible]まで[illegible]に[illegible]

角菅村十三郎種氏 別名[illegible]

えびす銭

取の隅の裾の辰ゆ飾すれちゑい 銭をえびす銭と云ふ十月廿日の祝儀なり 四ツ目に行むきて 世に云 隅の神 其月をお恵比寿講とも云 行ぬる人の祝儀に 是をもらふ事 吉ひとつのしるしと云心也

○書子教 東寺安然和尚作

○鯨帯 ことは古黒天鵞絨ト白繻子なとを合せたる名也 明和安永の流行
よりの名也 塩吹やうなものしきしれ 録帯ト 雑白 天和ノ作

○太平楽 此書ハ宝永正徳年間 幇間之名高き 俳優 中村吉兵衛作

湯浮ま擴肩
たんぽんの花のごとく吹揃ゆる也
此アラメハ口ニ鉄ヲ比シク赤キ福子娘人の白粉の番
たくて了路し すずしいろ老とも云ふ
おん深お

草緑瘡疋 ダブラメ
章莧 コブシ 岸嶋云 ぶらくちゃちゃん

○徊律病中ニ松岡玄達へ事ヲ問ヒしけ
調合進申薬湯生妻任 如常手
生食物肝要事唯許三生蕎与大根

○晩稲オクテ [illegible] 早稲ワセト云 [illegible]

○小稲ヲシネ 民種ノ早晩稲 [illegible]

○稲トハ苗ノ田ニ生立アルヲ云○禾トハ刈取ナキヲ云

○粟トハ藁ヲ去ヌルヲ云○米トハ殻ヲ去ヌルヲ云

○粝ナカゴメトハ舂ザルヲ云○粲シラヨネトハ既ニ舂タルヲ云

[illegible]

四斗石 [illegible]

[illegible]

○将棊 [illegible] 不正ヲ糺ス [illegible]

[illegible]

○水中ノ
○荇菜 アサザ 茎ハ釵股ノ如ク上青ク下白シ葉ハ紫赤ニテ圓ク 花黄ナリ
○浮萍 ウキクサ 葉下ニ點アリ水ニ浮ブ 一名 水萍
○蓴 ヌナハ 葉實之滑ニ花白ク実ヲ結ブ 一名蓴菜 ジユンサイ
○手忌 佛者ノ無事ニアラズ 僧家ニ
棡園寺僧 … 經中

無事忌服忌之事ハ蓋假儒而用之也
大蔵一覧ニ云 中有極多七々至七九日定ヲ
結生スルコト五雜俎ニ云 人死シテ七日ニ一備ヲ祭
禰之 遇七至四十九日而止云々

騏騄駬倚衡負軛而趨一日千里此至疾也然使捕鼠曾不如百錢之狸

猫

[illegible]

蠋蠋柔

頭籌

[illegible]

専門得ちし

揚雄以湖

府幹

五鬚髯仙子香疾

人名

[illegible]

波羅蜜 宗祇ノ作御ニ蜜ノ字ノ虫ヲ虫ト作ル書アリ

桂園ニ見ユ

○武蔵坊辨慶ノ事 東鑑文治五年 義経ニ従テ戦死ス

日本年史ニ云 武蔵坊辨慶ノ事ナシ

○遠州白須賀ノ辺ニ 関東ノ軍ニ戦テ 宇津(?)正成 ニ 押(?)

没ス セシトシレドモ 其年ハ[illegible] 白須ノ里ニ墓アリ

○信夫雲錦(しのぶにしき) ミニズリ 陸奥ノ産 ニ

コンタル 岩代(?)ニ 南ノ山ニモ在リ

信夫郡山口ヲ見ル 信夫郡山口ヲ見テ北ニ

○信夫郡山口見ル 錦ノ石 東ノ文ヲ好ム 北ニ九寺セト

自見(?)出ル 南ハ寺 北ニ其寺 偽文ノ摺観音堂

○高麗魚ト屋焼皿ニ抜

根下ナル自常仙寺 東ニ在リ 青山ニ此下ニ 別方 世々住リ又云

薬師ノ間ニ 所ニ 其仕物 本寺ニテ 向岸ノ間ニ 候ニ 如ク 云モアリ

(?)ニ此ノ門(?) 青山ノ婦女ヤリ 仕ハシ 主人 細ノ血皿ヲ投シテ

屋敷ニ 日(?) ニ 五ヲ見テ碑 又青山ノ妻 好ニテ 其ノ[illegible]

麹町ニ所在 百ヲ指ス 平切リ 一間ニ 捕ヘテ 深ク

康 ノ 高大[illegible] 菊井ニ入 ス 接 其所 甚ダ 皿ヲ

吉田 ト云 ツノ人 ナ ケリ 其 仙ニ 得

その頃 文字 中 セ ニ 甚 国ノ 皿 ヲ 持

青山 屋 ト 下ニ 随 ヨ 大二 ナリ

そノ 町 此 ニ

山[illegible] 戸ニ 云 其ノ 菊 ニ 吾 随 ニ ノ 八 件 ノ 此 ニ 探 サ レ シ

○日光強飯
毎年四月御参禮の日強飯式あり依テ日光責ト云
其詞
其方定メテ見テ聞傳ヘテアロウ　抑當山ト古實寺坊高代不易ノ
強飯トイツハ
東照大権現並ニ當山地主三所ハ和光大権現正孫太己貴命大悲天人賓ハウ
袋齋才天ノ知恵珠並四天金甲二天別行ノ密法ヲ
修シテ一度此強飯ヲ受ルモノハ四魔三障ヲ武運長久諸願円
満子孫繁栄寿命長遠何無疑ナシ殊ニ今般其男
ニ於テモ満足デアロウ何テ今日御祝儀トシテ天下泰平

東照宮ヨリ賜ハルトコロノ強飯ヲ一粒三合ニアマス七十五盃
一粒モ残サズスルトキニハ取上テノメツフ殊更此肴トシテ
中禅寺ノ木辛皮　寂光ノ里ノ大根ガ花畑ノ唐ガラシ
華ノ海ノ萸ノイロシ　荒揚ノ取捨ハ下サレ肴誰ク
スルトキオツ取アケテノメツフ容易ニハ
イタサバ早ク取上テノメツフぞ
不興アリテ
詞終

都

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

織田信長公 [illegible] 京 [illegible] 本能寺 [illegible]

[illegible] 日向守なり [illegible]

時 信長 [illegible] 討 [illegible]

此時 [illegible]

俳諧旋頭後集

○後世の旋頭 寿の字

旋頭 ハジメニメグラスノ意

馬楽集 土芳集 古嘉 [illegible]千載集

後撰一 みぞりするらむ [illegible]まで[illegible]世[illegible]

呼すさい。夢[illegible]。世間の人[illegible]

五七。五七。五七。[illegible]旋頭歌の詞あらば世[illegible]

誹諧の[illegible]現[illegible]。とつれまし。

君[illegible]世す。[illegible]のざこと[illegible]。是に五七。五七。七七也

[illegible]旋頭の義なれば上句五七七まで一切て又

片歌 下句五七七まで一[illegible]上がつて[illegible]事

[illegible]

[illegible]上句[illegible]

[illegible]

上句。五七七。下句。五七七。上ハ旋頭ノ[illegible]

[illegible]

○佛家 さじ字面

生飯 散飯 三飯 早飯 [illegible]

[illegible]タル上ニ小サツカメテ上ニ重ツ 佛家ニテ備[illegible]

食スルトキニ先此ササバヲ取テ利ト為シ置テ咒文ヲ唱ヘテ
訶利帝母ニ供フヘシ 天竺ニテ食物ヲ始ル人アリトカ
捷埵書長州[illegible]ノ書ニ陽成卿[illegible]
日中行事 内[illegible]ノ左衛ノ[illegible]
[illegible]
○和行
武家儀式[illegible]何段[illegible]
何石何[illegible] 永中十文[illegible]

奇ナル河ノ[illegible]ニテカレ鰯ノ産スル所[illegible]洪水[illegible]ニテ瀬トナリ
河原トナリ鮎モ数千ヲ以テモ産スル子ガ腐テ[illegible]瀬トナルベシ
其子生化シテ鮭トナル
越後ハ雪氷柱之ガ家ノ氷柱[illegible]
氷柱[illegible]下ル[illegible]根ノ太サ二尺余リ
越後魚沼郡塩沢ノ駅ハ三里余清水村ト云フ[illegible]
[illegible]高サ[illegible]氷柱長サ十丈許
太サハ二抱ヨリ[illegible]
流の氷柱[illegible]
雪[illegible]
[illegible]大橋ノ[illegible]

北越雪譜に曰　塩沢は海を隔る事遠くして[illegible]京山作
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

千利休が[illegible]
[illegible]

縮の種類　越後魚沼郡の産物

白縮　堀之内組在村ゝ織出ス　又浦佐組小出組の村ゝ
模様縮　白[illegible]藍[illegible]縞[illegible]類ハ　塩沢組の村ゝ
並縮ハ六日町組の村ゝ　○紅桔梗縞の類ハ小千谷組
浅黄縮ハ　十日町組の村ゝ　○絣類[illegible]ハ高柳ノ組
[illegible]　其外ここに[illegible]
婦女子雪中に籠り居て手の業也　[illegible]十月より
糸を績初て次年二月中晒し終る所也
白縮[illegible]
△中以上の人多く用ゆる[illegible]　縮には其[illegible]体

繰綿

を正しく呼吸をつめて手を当て為作す

なす故に心臓に集まりて胸むすぼれ

用かし〳〵 絣の模様の如

やゝ唾液なとを出す事紛やかなる

体をあたゝめて恵ふ事毎に温め行ひて浸潤

○故に雪の湿気を得されはわろし

撚糸無きもの温まらぬ布も温きもの

織物を営む手に織を施して織を利とす

綿の別ちく一毛の名尾に行なし滅めと

抱の事是に一反なすも人の手をかる

不りて至れし三分成し紛の

手もと定ンセざるの浮き

縮糸四十緒を一とし之

是にの縮経緒世界よ二三十行

縦糸中に三応通ス其一節の糸

一口十縺緯糸を日を縄く縺

布中四

すれバ化スナカス

○縮七尺縦は三まがく

二絹の実ちふりて 言を呼ぶ宮 守四方 手る事を おれ縮 をなりれ

わふら[illegible] 君勢他で浙江[illegible]

高山の[illegible] 積りて[illegible]

[illegible]山の[illegible]

[illegible]二[illegible]

[illegible]大[illegible]

[illegible]の大[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]大[illegible]

[illegible]書[illegible]

[illegible]おフラ[illegible]

○[illegible]卿[illegible]の[illegible] 八[illegible] 土[illegible]の社[illegible]

[illegible]十[illegible] ○[illegible]の[illegible]

[illegible]一ワ[illegible]の[illegible] 寛方

[illegible]右京 [illegible]

[illegible]奉行[illegible]

信乃家 [illegible]二[illegible]

右二[illegible]刀[illegible]

右拝[illegible]

一[illegible]

[illegible]信[illegible]

[illegible]

一つ、誓詞

奉松屋小山田之大人誓詞

誓詞曰縣居加茂翁乃古學乃道乎深久中心尓慕
御之故尓今茲何年何月何日大人乃門尓入天其教乎
受久自今以後異端乃學尓思惑波須固久師
教乎守流倍之
朝廷乃法度乎把須左忠孝仁義乎心止志天行乎
慎美勉天恵心美情事乎最止須倍之亦荷田
東麿宿祢加茂真淵縣主村田春海宿祢等利
我大人尓至万天道統乃師乎君又尓准天敬貴
布信若師教尓叛天放宗留挙動波世天神地祇乃
之忽尓其罰乎責天此身乎罪許報之給止信恐美
恐美毛白

傘ヲ貴ハ上古
の羽葆蓋の
字を訓り
所謂絹がさ（きぬかさ）こ
神輿の鳳輦を覆ひ
奉る飾笠なり
ウズメ
鈿女　拎イデノ字

何處カ
何日何時何色人
生年　右何　姓名

輟耕録ニ　陶九成　其詞曰　木乃伊ハ天方國ノ人年七八十歳ニナレバ身ヲ捨テ衆人ヲ濟ント願フ者アリ飲食ヲ絶テ唯身ヲ澡シ蜜ヲ食トシ月ヲ經テ便溺ニ至ル迄蜜ノミナリ既死スルニ及テ國人負テ死骸ヲ斂メ石棺ニコレヲ盛テ滿サルホトニシテ棺ノ中ニ入テ蜜ヲ漫シ石ヲ以テ蓋トシ棺ノ外ニ年月日時ヲ鐫付テ是ヲ土中ニ埋ム百年ノ後ニ發テ封ヲ開クトキハ棺ノ中悉ク蜜剤トナリテ是ヲ名付テ木乃伊ト云抔末ノ様ニ作テ折傷ノ處ニ如何程ノ疵モ少シ服シテ忽チ平復スナリ

清水流雲如て[illegible]の彩羅かなしもあそ[illegible]

求めなきこんも年もおもづ倦せてる[illegible] やまれ

椿青風にて縮

剥 剥取（ハギトル） 剥（ハギ）盤

蜘蛛の囲ヲ織ナ 凄（スゴ）ヒキ

畑ヲ打チ 水ヲ流（ナガ）し

壮佼（トカウド）

躊ヲ遅ム

病（ヤマイ） 病い 病

馬ヲ指（カン）イレ

櫻 櫻（サクラ） 交（マジ）ツ 暑し 縄（ナワ）

矯推（ソラダメ）

践處

諛

推識

践 践

○加茂役公氏小角 葛木上郡茅原村人 流刑セラレシ韓国連廣足之
ニ者小角ヲ師トシテ呪術ヲ習ヒ後ニ却テ小角ノ妖術
ヲ以テ文武帝ニ讒言ナシ故之ヲ [illegible]

○牛王ハ生土（ウブスナ）ノ縁リ

○日本第一ノ紀州牟婁郡相瀬村大石 高サ七十五間 周二百六十間
大石 古座トシ云川ノ傍ニアリ

○豊太閤の太言トモ云フ
世の中ハ我に似たるもの [illegible] 生て [illegible]

秀吉公伏見新城 [illegible] 出来 [illegible]
ノ [illegible] 三島の [illegible]
[illegible]
君 [illegible]
[illegible]
又 [illegible]

とて且以後宜嘉之

又宋宗懍云…

歲首ニ用テ…積 唐土ニテハ春盤ト云

春盤

○末

○乾棗 温ニシテ毒無シ 氣ヲ益シ 腎ヲ補フ 十一經ヲ補ヒ 五臓ヲ治シ 蟲ヲ去リ 寸白ヲ治ス 筋骨ヲ強クシ 喉ヲ… 行ヨク眼ヲ…

明ニシ 身ヲ輕クス 陽根ヲ強クス 梔ノ油 胃ヲ上ル

○梔 無毒 [illegible] 油 金瘡 切疵 腫物ノ肉ヲアゲ 痛ヲ… 疳ヲ… 惡血ヲ去リ 腰ニ痛ニ… 一

○大… 明…

…田ニ… 後云懐紙ハ清和帝ノ比 寿紙ト云物ニ… 千ク紙ヲ用ルト 貞信公ニ云

貞信公ハ延喜前後ノ人 清和ヨリ後ノ人也 ト傳ヘテ…セ治ヌニ

○ 神功

玉しまをあちこち北海ひくくてふりを文の名こそみしかれ　匡房

仲哀紀ニ 二年六月辛巳朔 泊於豊浦津 中略 到渟田門 食於船上 時海鯽魚多聚船傍 皇后以酒灑鯽魚 鯽魚即醉而浮之 時海人多獲其魚 ニ云

其魚ニ…

水の月やうつりにけむあはれ… 小鯛ハ今もあり… 六…

桜鯛と… 春… 借… 年…

あちこちは海ハ仲哀紀ヨリ… 信… 田門ハ 和名抄ハ安藝國沼田郡沼田… 安直…

アリ… 有… 離… 明石の… あちこち…

豊浦… 和名抄…

… 東ノ… 鯛… 今ハ三月三日… 備後國界…

アヤマテハ海… 入 鯛色… 匡房… ヨリ… 一

○垣ほなる[illegible]のうきくさ[illegible]風のうき[illegible]し
曇芸芸云汁ハはシテキアリ[illegible]繁木ト云リ ハサ芽セ谷ト[illegible]
上読書
狗尾草 稗穆ノ一 詩齊風甫田章ニ無田甫田維莠驕々 孟子盡心章下
悪莠恐其乱苗也
業莱生スル物ナレハ繁茂莠ト云ヘシ 莠ト稗
閣正訓ハいちとある[illegible]ハ草名ナリトイヘリ[illegible]擬
[illegible]

○アヤメル人ナリ
雨竹[illegible]あやめとさなし あやめとやまひの[illegible]
杜若アヤメルハアヤマリし

○俚諺 舌ヲマハシヌルを舌ガモトナラヌ 言ニ俚諺比ニ[illegible]
モトホルと云へり
東ハ浅銀ガモトホラヌ大古ニハマハしと言ベキヲ[illegible]

○足のムイタ方ヘ行
足のむかん方へ行んとそし
竹取譚 足のむきたらん方へいなんすとし 又大和譚ニ

○火ベル 火ノ中ヘ[illegible]
火の中へうちくべて[illegible]

○好ましき事を耳ヨリと云て
コノマルキ
耳よりなること[illegible]
住吉物語ニさるべきさまとおほ[illegible]

○こゝろ[illegible]ふをなどとハナツクと云事
空穂[illegible]
くちをしけナツキハナタレヌことし

○ハダシワルハギツ 空ホ[illegible]
ツルハギハ鶴脛ニテ 脛高ノカバゲタルこ
[illegible]

○サイナクル 枕草子[illegible]
[illegible]

シレベ言
○ハツレル
離別
元輔[illegible]
枕草子
今昔ノ[illegible]ハツレテハ[illegible]

○オハモシ　濃君草下　世のおもしとたのみたのむこそ
偕之人ノオモシヲオモシ也

○靤瘡(モガサ)　面瘡　略　契沖説

○樽　順云弁色立成云音与酒尊同　今案和名
和名ハ近俗先ヒ空樽五[illegible]
俗入テ酒ヲ入テ[illegible]　長[illegible]
[illegible]

○衆妙の花も薄紅にみちみちも　立みちたえて世にふる　草帷
立ちわかれ肉付ぬ和布をやぶてはる風をおもひ
偕之人の汗ヘチヨト行ヲ立ツガフ行立なりしたるそれと

○蟬丸　宇多法皇第四親王敦実親王ノ雜式之目
　会坂関ニ住ム琵琶ヲ弾ル云々
市十初ノ祁ヲ市[illegible]　関ノ神祠ヲ建ッテ古ヨリ在ナリ

王昭君　匈奴求美女帝以昭君行　昭君在路愁死於馬上弾琵琶其
恨之シ　[illegible]
コフカウスレ子　昭君ノ[illegible]アフスミノナリユツメ[illegible]

○歩行をアルク　アリくとのみいひやしナルハ古風ナリしなるべし
万三　公之阿流久[illegible]　安流氣騰アガナハ

○衣手なたなり門
衣架　和名美曽加介　空穂　ころもかけたる
さしもれつる[illegible]さたやなれをみるらむかけしていさせ
衣架

○椓　音永　漢語抄　木可為弓也　[illegible]　和名佐久木
椓　和名[illegible]知比

○いそふるのよるよる
[illegible]

○あひたる[illegible]
[illegible]

○アザムク　今俗カヲヌスアキレルなどと云が如し
アザミウラフナドニ云ガコトシ

○おこしゝめ　今俗ニモニテイヤウヲコシト云（[illegible]）

恵心集法性寺座元三十年[illegible]

御ひとつをりおこしごんとしせられてまうるよしにて御ものほと

まあてわぎらしくてうち郎ひられバ御こゝのきわまらしくと[illegible]

このうち[illegible]

東北院歌合

只ゆるのなるふ、ゆみしねのかまをうたをうびつられと遊ぶ

ことすゝらばのへとひらひとうはなれを見ておこしめなる

拒　教（和名於古　近古奴）

匹云、畝　平殴　今俗打喫木也

○アワタラモノ　傍言　菊花[illegible]　惜　アタラ　訓ダト

俗云アタラモノ　俗云アツカイ（ヌ）と言如し　訓ニ御方添テ惜キルとアタラ

○ミ

泥をねとて大牛をコツテヒ牛ト云　一万九千　牛をコツテ　濃をコツテリ　コツテリ　ヒツトル　牡牛とヨミし是ナリ　以来

○キヨブト

悪霊　大嘗会御禊御[illegible]白米権門ぐ。世ノ人モギヨトオモヘリ

○扇のかなめ

吹ゝ風のはをまくらひとつにしく君ゝるのしらせてさせて　大三河家

解月之　与陽式三日御自斜

○おかゆもゆね

氷　[illegible]

みゝもひとさおし

水を云ヒとして　従ら栗まで卅

男沖云モヒハ恵水ノ唯可以云用、瀬飲食ニ求、モ石指河池水ニ云也

主水　モヒドリ　ひぜてりたるおれもひ　赤染衛

○さすおちもぬ

当籍　別らし

御水　オヒヤ　御鎮座本紀

常者　ヒハ　オモハヌモノニテ（ミヲ）

○比那閑夜　ヒナ　ハヤ　旅宿好比

門亜屋之

○人ノこゝろはおぐみあり

猿衣ニガミ（イ）テタル　主　殿司ノモノ、頭トモヨカレ（テ）

○杉竹をふるきてすきんめいれ　キンメイ　御代ちとしめさせ給へり

口たき　和名抄 薄 爾雅云草聚リ生曰薄　日本私記 薦 以テ　字彙 [illegible]

日ク薦ト　草の敷ものを薦と云ヘし

△元良親王集ニ云　[illegible]の[illegible]妹の[illegible]の[illegible]

[illegible]して かよひけるを[illegible]の[illegible]

[illegible]に白[illegible]

みを[illegible]君を[illegible]

[illegible]

[illegible]

口芦田雀ハ 白キ雀ナリ　白鷴 万六　アレテ馬ハ荒花も馬[略]

芦ノ花ノ白キニヨス

口大鏡ニ クロガイノホネノ九ツアルニキナルカミハリタル扇ニし

紫檀　蘇枋　黒柿　[illegible]　クロガイ　カラモモ　オウトウ　トホロウ

百助

口空[illegible]

[illegible] 佛の[illegible]

今ノ俗言ニアダ[illegible]

口てがらし　日暮師 [illegible]　手テ[illegible]

口捨人　[illegible] 捨人ナリ

○すきすき隙　○あららかは[illegible]

○こらざらは水砂之　みをあさらみさごして[illegible]

○耳をきく　らうたしと思ひわらしもいしして[illegible]

耳をきくとは今[illegible]きく事を[illegible]となど[illegible]同じ

がき耳をききらせるワルキハ耳ヲキカセル　たと今俗言ニ入り

○ほてい布袋　灌仏ノクワウフワ　ゆせうぶん　ゆ震分　肉ゆやく　麹威

けしやく私風　ざけ邪気　けうそく脇息　ワヘト勘当

ごぶ碁盤

胡

[illegible]

○あいあい用　[illegible]の用

○[illegible]子[illegible]かしたと[illegible]すのまして深山木の中[illegible]

りうけどほて三従二[illegible]のきあそわたとうそう

を[illegible]をふれくのころあ[illegible]

○碁盤のすらう十石[illegible]そしてそぶふてわらひたる石と[illegible]

そしくらわうしにわがまかせをとよくみてこうなる

りじわらとすぐてそしけがいうて石十かたくれ

あくうそし　一年の人[illegible]十ケてもんの[illegible]とたるきさ詞なり

碁　[illegible]

打[illegible]して思慮[illegible]

（孝徳紀）

○鈴（スズ）ノ字 源氏部ニ出ヅ 下ニサレテ鈴ヲ賜ヘト
道テモナシ 千五百番歌合ニ雖アリ 千五百番歌合 九題跋ニ 上句ヨスルニヤサウン 方記
葉探ノ大刀契（ダイトケイ）匠房記題賞ニ 鈴印（スズノシルシ） 中具上古ハ少納言伺見シ
又節刀ノ鈴ハ天暦帝ノ時ニ出ル鈴帯取不離御身ニシ 識我國至極之重
寶ナリ 鈴印ハ刀契節刀などし并の御鈴也 国の宝とぞいはれける
源氏ハ左近ノ鈴行平ハ勅勘ノ人イカデ宮ヘアリ 鈴印ヲ下持スベキモノ
勢林撲機廿八ニハ行平ノ須ナ下向ニ持タセシコトアリ 鈴ノ
ヨセクルモノ行平ノ鈴トセリ

○雨青ト見ゆる月やかりし心秋倶在
あるやうのおもしろき風情しやうムラカレルト云計りし

○御綱葉（ミツナカシハ） 仁徳紀 三角柏ト云ナリ（古事記ニ） 皆種ヲ添ヘ 柏ヲ数ヘテ ミツナガシハ
古事記ニ御綱柏 葉ノ先ニ三ツノ尖リアル葉ト云也 カシハハ炊屋ニテ 炊ク飯
ヲ葉モテ包ミモシ盛リモス也 膳部ノ人ヲ柏ヲカシハデトモイフ 世ノ中ナレバ
ホノ葉ニテモ食フベキモノヲシキスルヲカシハトイフ 世ノ人ハ柏ノミ云ハレルニ 仁徳紀 御綱葉
ノ説 契沖云ハ 何もかしは葉にもりて食ひ物を盛りしをいふ 此云
是ヲ説トスベシ 朝カシハ 枝にかしはを盛りしこのをかしは ちいさき
ほそうく 波林ニもあら カシハ 仁徳紀ニ云
カシハキノ葉ニテ 神モスベテ木ノ葉ニ盛リ 宗カ 云ナルベシ

○野槌 神代紀 生草祖草野姫 亦名野槌 沙石集ニ野槌ト云ル虫アリ
形大ニシテ目鼻手足モナク口ノミアルガ 人ヲ取リ食フ 或人ノ云 昔
門上ニ有ル一蛇ヲ人名ケテ野槌ト云 此蛇 害アル人ニ 宝鏡 煩乃知
野槌ノ義ハ 多説

○まがり 本名 久我ニ居テ 水ヲ入 手ニ居テ 出スモノ
まがりと云ハ 家ノ まがりにて 其の ゝ
まげもの
一条 小器ノ名ト云 まがり 本名合子 出家ナドノ用ル マロクヌリタルモノ 又ハコトドシ

ミ田義町云曲觴（マガリカハヅキ）とて市ニ擬（マガ）ヒ曲しる處アリ上代用ヒタリ
攝津國天満宮六月祭礼御旅所ニテ神官田居シテ神酒ヲイタヾク
とをかは曲さかづきなども是也 淺ガ花御皇ト曲りさかづきさく
今ハ猪口メカシツナリシトミエ

○住吉隨ノ□社ノ北ノ岸ノ角ニ塚アリ 手塚と云又玉塚ニ
志こハ大玉ト小玉トヲ以玉手の國ノ山手あるこし 中足
南ニ大手塚小ニ小手塚南ノ方ニ黄土ヨロシキニヨリ取ル者
崩シ者リテ今北ノ手塚ノミアリ

又そてげざんも侍づし 是奈

○猪名野ハ庭名き ○石すゞハ諸名をみつぞうん

○むこ山 住吉浦ヨリミユ ○東西

丙
○伊予ハ忌酒也 ○キネ 御年祝部ヲハジメ民人ニ至ルマテ總上
クスリハ薬酒ノ名クスリヲ約メテ遠志トイヒ又クシを約テ紀とりし
古紀を搾して加ともいゝ祁ともいうを約テクシハ酒ノ古言ナルヲシルベシ

甲乙丙マデハ
以上酒古名考 久老翁ノ説ナリ

○讀青木敦書ガ草廬雜談
△竹島 竹斯國 阿蘇山 古ヨリ日本ニ屬ス 憲廟ノ御時朝鮮人屬國ノ由云上候ノ朝鮮ニ賜ルト云
△蝦夷 文獻通考日毛人ハ海中ノ小國也 其使鬚長四尺 善弓矢 插箭於首令人戴瓠而立數十歩無不中者 唐顯慶四年十月隨倭國使至入朝ト云

△二萬斛船　顔之推家訓ニ云二萬石舟ト　西土ニテモ斛ヲ以テ船ヲ積ス

△貫　知行ヲ貫ヲ以テ積ルコト今仙臺ノ人　萬石ヨリ下ハ貫ヲ以積ス十貫ヲ百石トスヘシ

△徳政　室町殿日記ニ

△一伏時一晝夜　云カブトシ

△大觀通寳ノ銭　唐銭　永正ノコロ専ラ用フ

△塩　今ハ升石ヲ以賣買スレド漢土ハ如ク　昔ハ斤ヲ以ス　室町日記ニ云ヘシ

△開元寺　日本ノ國分寺之　唐制ヨリウラ我國倣ヘ

△鯛　魚名ト云コト山谷書ニミエズ　膳夫録ニアレトモ　鰺魚先於鯽魚鯿魚鯛魚鱸魚次之　ヨリ

△水虎　水經ヨリ躁沔水中有物如三四歳小兒鱗甲如鯪鯉射之不可入七八月好在磧上自曝膝頭似虎掌爪常没水中出膝頭小兒不知欲取弄戯便殺人ヘシ　今俗ニ云河童ナリ

△魚莽丼（魚ノ形似タル）　疑ハ清異録ニ以漁業闘戎丼状トアル　我國俗ニモ是ヨリカ筆ノ舌ヲ人ニ置ト云ト　コレニ入タル御ノコトナルヘシ　本庫中物ヲ置ヲト云ヘハ魚業ノ魚ヲ形

○[illegible]

○高野山萱堂

[illegible]

引字て居候し[illegible]菅家毫とも札をも[illegible]之字

○原子石字[illegible]て[illegible] 毫承をとりて文字をかく[illegible]

○吉文 天子自ラ神祇ヲ祭リ [illegible]太平記ニ東夷北[illegible] 湯西帝
吉文ヲ賜フシナトヲ申

○行李(カウリ) 俗字晋柳ナドヨリ
旅具ヲ入ルナドト

○かみおさ 一長官ヲ云 守 頭 督 正
これ皆かみ也

○媽々 かゝと訓ス 母ヲサシテ云
又[illegible]

○かかむ 中臣祓カンノシテ
[illegible]俗言ガブトモ云

鑓(ヤリ)

鈴(同上)

○かゝなく
かゝなくすかゝ[illegible]

[illegible]

○花押 自ラ名ヲ書テ
花押ヲ下スハ誤之

○かしき 北越ニテ深雪ノ中ヲ渡ク 探ノ字ヲヨム 俗カンジキト云

○このごと 假言ノ意

○かこつ 託ノ字ヲヨム 借言ノ義
白氏文集ニ託ヲ[illegible]
誣(カコツ) 太平記
借ニかこつけるハカスルノ義ニスの反ツ也

かこちぐさ

○嘉祥 六月十五日嘉祥ハ宋寧宗年号
後嵯峨帝ヨリ廿年前ナリ

○風の祝 風神祭也
祝部ナリ 信濃ニアリ

○かうがい 細川頼元ガ製セリ[illegible]鎌倉年行事ナ右府下[illegible]金襴ノ
肩衣[illegible]シテ一ヲ立
[illegible]
コノ[illegible]

○がつてん 点合せんこと
点[illegible]

○かねうつ　鐘撃義也　誓言の時[illegible]　金打（キンチヤウ）とて音[illegible]
佛前ニアリシ[illegible]ノ鐘ヲ[illegible]　[illegible]

[illegible]
○かねのうへに身をつき[illegible]かねの[illegible]世[illegible]中

○人参　カノニゲグサ　　○屋上ノ瓦落テ鴛鴦トナル　魏文帝

○かへせ　交易　替銭　飛銭[illegible]　[illegible]

○蟇合戦　續紀[illegible]　百練抄　[illegible]
[illegible]三月[illegible]

○門社　長部栗
[illegible]

○かいつもの　貝津物
[illegible]貝[illegible]物肉ノアル貝也
[illegible]貝[illegible]

○かしや　鹿火屋也
[illegible]鹿を追[illegible]臭キ物[illegible]

○禿髑（カブロ）　了髮　[illegible]振義也

○兜鍪　[illegible]
甲ヲ[illegible]カブト[illegible]

○がんせぎ　不肯　日本紀

○かつぎ[illegible]　賽　報祭ノ義也

○榪　カマチ　家ノカマチ也

○かぶらいた　[illegible]　[illegible]板也

○かめやま　蓬来山ト書リ

○鹿をとる　秦趙高
[illegible]

○かんづくり　[illegible]

○搦織（カラミ）　カラミ[illegible]
[illegible]

○鈬子幬（カヤ） 蚊屋也 蚊屋帷 紀ニアリ 蝲 俗字

○傘

韓傘ナリ 天正ノ年間堺商客呂宋ヘ渡リ文禄三年帰朝シテ豊太閤ニ奉レリ是始也トソ 秀吉信長ノ傘ハ差物ヲ朝ニシテアリ 後世ノゴトク帰ニ用ヒルコト 此ヨリ始マリシカ

○粥 正月十五日

煮豈粥為天狗於小庭（置カ）中案上其粥凝時向東方再拜長跪服之終年無疫氣 世風比

○かつら

○土

[illegible]

土妓（タハレメ） 賣女

酒 古名差乃

○紀神功巻歌 向虚能弥企波和餓弥企那羅儒區志能伽弥 (コノミキハワガミキナラズクシノカミ) 區志ノ神ト申セル言ハ薬ノ神ノ意ニテヤオモヒテ年月カニカクノ疾ミクラスニヤ、オモヒ得レテアレハ 左テ鬱ノ○薬ト云ハ本ハモト奇シキ意ニテ其體言ニシテクスリトハ言ナルベシサテ薬ハ上古専ラ酒ヲ称 ○記西神ノ賤歌ニ御酒ノ許理理賀カニシミキニ加ヘテヒニケリ 許登那具志恵具志ニワヒニケリ 此コトナグシヱグシト云ハ和薬笑薬ト云ヿ即スヽゴリが醸ミシ酒ヲ云 クスリノスリモクシト云フ又 クシヲ約テ知ヘシ さて大海ノ大彦名二柱ノ神ヨリ酒ヲ造リ初玉ヒシヨリ薬神トモ申奉リ 神ト申ヨリ 療病ニ方ヲ定ムトハ 此詞ニ方タリ傳ヘシナルベシ 漢土ニ酒ハ百薬ノ長トモ云ヘル ノアルヲモ大モヒ合スヘシ

○大名持ノ神ノ霊現ノ德用ヲ称テ奇魂幸魂ト申セリ 紀記ニミエテ諸家ノ説各異アリ 奇ノ字意ナラス萬四五古命之将全幸限ヲシリテ命ヲ全ケリ幸ヲカルヲ云之又奇魂ノ 幸モ本ト字ノ意ニアラズ薬ノ御魂ニさて其命ノ幸カフレムハ食物ニヨリ薬ノミタマハ 酒ニヨルノ称ナルベシ

出雲国造神寿詞　和魂 幸魂 奇魂　倭大物主　大物ハ御ニモノニテ食物ヲ古言ニモノトシテハ霊武推冊ナトヽ云

櫛甕玉　酒甕手向ニテ申食ト酒トヲ云祈ノ意
酒ヲ甕ニ酒舌多醸セル哭出ナリ

ロミキロ　未醸酒ヲ名ヲモ酒ヨ実ト云モロモロ酒ヲ云ノモロカテ文ノ意
糟文ノ酒ニ尾張ニテハ酒ノ粕ヲ酒ノ実ト云伊留モテ名世ノ実
とりわけ穂モ和ラカナカ又濃濁醪モ名ノ実
糟モ　みそハ実酒ニテ滴ト八酒ノ意スルヲ云今モ酒ガウクト云ヘリ
汁滓酒也ともすれ同意也ニムロハ今ノ旅飯穂ノ

大嘗祭式　黒酒　クロキ
白酒　シロキ　シロキと清セくその色ハ深樹ノ和ニ同ジクシロの約ノ和世ニシキノ知れ哭ニヤ
又を酒ノ実ノ云カ

悠基　主基　悠忌志清ヲ志ニテ専酒ヨレル名ニ
ユキハ忌清マハリテ造ル酒ナルベシ
スキハ漱忌スキニ

酒ヲ許渟　嚼酒折ニテヤ知と知る
口味酒鈴鹿

折し八紀神代ヤシホリ八醞酒といへるもありまて
鈴鹿カレル祝詞
嚼ル意ト云意
ヤシホリ
隣伎折ノ意折返し度ルヲ云

ロウマサケノミ輪　志神紀ウマ
ウマ酒餅香市　顕宗紀ウマ
ロウマ酒ミムロ　あさこ
ウマ味酒鈴鹿

皆言ウマ酒ハ糟文酒ノ名醸醇醲トモ云ヲ今ノ世ノ醞ニ
三輪トツヅクハ実酒ノ意
餅香ハ実酒ノ意ソレの約カヽ略又此地ヲ和名英賀トモ云ヘル
宇麻酒ノ意ヘウマ約ノ安ソ
恵ニ輪ハ
鈴鹿ノ揖ヲ名ヲ郡
三室ハ実諸ノ意
鈴鹿ハ嚼酒ノ意

なまよみの甲斐
おしなる諸かも

ナメウマ
嘗味ノ善寶の類　ヨミノカヒ
ウナヒ折善嚼る汁酒　タルキ

一、駿河ヲ汁酒ノ意ニカヽレリト云ハ迫と知ハ常由ヲ
滴水ヲミミヅルとのモ類モ加ル久志の約ノ紀也と知
鈴鹿ノ加ニ同シ

類ハ上ヲ打大嘗祭式ニエタル稲ヲ実ノ意ニテ酒ノ如実とスル稲ニヤ
大物主トアルも大神ナアタリテ汁酒ナリト云ニヤ
汁酒　汁ジ志ニテ又大汝神ノ和魂ヲ称ヘテ彼奇甕玉ナト云てあらん

ワ御食向木之瓮（ミケムカフキノヘ）コノ向ハ備ル意
是モ三品ニ過志缶ニテ酒之瓮（カメ）ト云意

ロ居忌瓮（スヱテイハヒヘヲ）一　イカニ斎テ手ヲモテ居スヱ（イハヒベヲ）　イハヒホリスヱ居ト訓ルニ
同ク忌浄（イミキヨ）マハリテ醸（カモ）セル酒ゾ
瓮ナカラ此河ベニ居テ神ヲ祠ル也

神酒王春（カミノミキ）　神酒ニテ酒ニヨモル酒名

曽祢葱豆孫（ツイガツ）　其啜（スヘ）ル意ナリ
豫（ヨク）高同（ス）　攪（カキ）ノ同

イハヒベ
忌瓮

サケバシロイスバ
シシクシロイスバ
蛙居（カハヅヰ）　釧ト云
久老佐久々斯ヒ（サキグシロ）ハ幸（サキ）酒品サキ望魂チサキミテ命サキカラシム意ニ只ハ助語
卅三十餘ニ咲ク（ヒ）セシハ（イ）ハ否清（スミ）啜（スイ）ル意又ハ忌（イミ）清（キヨ）ノ意
実ニ異ヲ右ノスミカ（ミ）レ澁（シブ）ニセシスモ志テ情（ナサケ）ミトリニ（ミ）ノヒヤ（リ）ハ酒ヲ（クミ）テ（ツ）ナリノ立ナイ（ツ）チタル味ノ意

ロ乃石（ヨキヒト）
吉人乃今食有（ヨキヒトノイマヲヤラフ）吉備乃酒（キビノサケ）
此吉備モ（ク）レミモテ味酒ノ名ナルベシ
実ト八十ニ云酒糟ニテ糟数ノ酒ヲ云
吉備ノ國モ元来酒ニヨル名ナルベシ

佛教家常忌年算
一年　十三　廿三　廿七　卅三　卅七　五十　已上
十年　三十　四十　五十　六十　七十　八十　九十
百年　百七十　已上

以上ハ忌（キ）ニテ以テ（ナス）モ明白ナリ

○十三の事ハ男子ハ（大）古ハ（古）ニ云
古ハ此ノ風俗ニ佛法ヲ信シテ聖福寺ニ
父母死シテ後七日ヨリ七ミ四百（九）日
一周忌ハ三年七年十三年十三年忌ヨリ
マデ十三又十三年ニ進ミテ
佛ノ法ヲ一ツ紀ノ中ニ備ヘ
文ナド書セテ納メシ云々

○雷上動 兵将氷将 弓箭ノ箭 養由基 遥
楚ノ共王ノ臣
晋楚戦ニ北ルヲ追フテ
乱箭射ク

椒（セウ）花女 巻紬由カ女之 弓箭名人 婦女

巴女ハ義盛ニ再醮（セウ）ス 御解（ワビ）

銃戦 地ニ談 天擽園ニ於テ貝著述之

鳥銃ハ日本ナリ 鉄炮来由事付ル故ニ之 明朝鮮ヘ渡セシ

議ニこ立武備

西唐代ニ人物定リ 宋ニ至テ山水定ル

西洋ハ画ヲ古画之図 出丹青説

梅花文（花菱ノ）ありきまも藤はを細かてもあり風変よ
其ゟうちとくいてくるぞまとものゝつらね（作者ハ名）
のことつきく

珠盤 文房説 本朝珠盤始ハ寛永比出ル 宋代ニ至テ久ル八
明ノ高僧伝ニ元ノ代所見ハ輟耕録ナリ

○弘化四丁未春三月 越後信乃大地震（七千七十九人 死亡 是ハ信州人別中ナリ）

○安濃郡一身田ニ於テ品記云文政六年正月十一日今日發
今度秀盛卿ニ御前ニ借(?)勅書以テ波ツ之し
○日光准后御前ニ以往勅許ニ以園ノ浪花ヨリ淀川ヲ遡リテ
都にまゐりてなりとぞみえて皇居の方を拝しさせ給ひての之
これをしりける人(?)ときをとぞ申しける帝座の
上にハ天照の陽雲まましまして白色の獅子と見えさせ給ふ
又こゝもとにいかでとぞ見せるめし落ち白雲おほひて
○元禄の末静寿(?)ニ真慧上人子同吉の是やあらし
了の是や備るのこゝろし

浴恩 水

○但馬国城見山背梅(?)ニ在ル養父明神社ハ狼ヲ使令トス宮前ニ
左右モニ狼ノ雌雄ヲ彫造シ鉄網ヲモテ繋ク此右ニアリ之ニ
隣国ノ村々猪鹿田畑ヲ荒スガ為ニ此神ニ立願スル社ヘ修(?)撃(?)
スル猪鹿ヲ狩テ其猪ヲ捕ル其ニ捕ル猪鹿立所ニ亡ナル(?)
則(?)猪鹿ヲ参テ祝ヲ申スルこし
同ニ狼毛塚(?)ヲ為ニ奉ル怪狼ノ毛ヲ[illegible]遠ク北立
比[illegible]毛有[illegible]遠立盗賊ノ入コトアレハ南ク近[illegible]
シメルニ依テ同見之

一 笠尼ノ事 摂津の[illegible]尼ノ洞リ空印寺ト云
寺ニ[illegible]社アリ[illegible]帽子ヲ着シ
[illegible]三年[illegible]ノモノ[illegible]比丘尼文[illegible]
御[illegible]千代姫[illegible]十字街[illegible]
[illegible]同三年 笠尼[illegible]形判ナリ
[illegible]ハ[illegible]寺ト[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
人を[illegible]
なニ[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]リ
[illegible]ニ[illegible]

[illegible]云[illegible]
[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]
[illegible]山[illegible]
[illegible]人[illegible]也

[illegible]
[illegible]
[illegible]

六月晦[illegible]
落經茂草 若[illegible]
様[illegible]
[illegible]二人[illegible]
[illegible]中[illegible]相撲[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]
中[illegible]和[illegible]

新しき手[illegible]セズカケテ
行わ[illegible]
て[illegible]相撲[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
ケテ[illegible]

久ヽ入龍王ノ深カラ滝ヲ[illegible]カケ引
只ハニテ修ノ山アル池ノ名ヲ大テ
帰ル是ヨリ村民ニ報
至テ[illegible]
於龍王山
て[illegible]

○庭作事 是ハ戯流四条流両流アリ云々 或作庭筆
東山西芳寺ノ庭ハ夢窓国師作 [illegible]
カラ今[illegible]
[illegible]
[illegible]
将來[illegible]

○摂津国府ヨリ西南ニ当テ高山アリ 古老ニテ天神山ト云 天神山ニ
菅神[illegible]天神[illegible]
一[illegible]國清水[illegible]

ムウル上主ヒテ吉曼ヲ書シテ雨ヲ乞テ止ヒシ事二月三日也
天感応心アリ……
附会セシナリ

西行上人臨終之地　河内古市寄リ山ノ麓ニ有道ノ辺ニ石塔ア
高野山……弘川寺ト云

天明四年三月廿四日大阪九月廿……ニテ……山大法会……
……山内……
雨……
戒ナラントト山……
ジキ衣ヲ着シ頭巾……

中宮　五月一日寅年……中院……
依難逃……入北山……
廿七日己……
……
慈……
天皇……
中院……雅……卿
……
……中院……

婿舅猶以深重院の地を廣め[illegible]
[illegible]
[illegible]雲[illegible]
[illegible]
[illegible]遊[illegible]雜[illegible]
東之數[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

保[illegible]隨徳か春[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
流[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
嘉永三年庚申建春三月廿一日[illegible]

[illegible]数[illegible]
[illegible]九十七箇[illegible]
[illegible]明静[illegible]
[illegible]松[illegible]内[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○[illegible]
[illegible]
○[illegible]
[illegible]
[illegible]
○[illegible]
[illegible]
○雲の[illegible]
[illegible]

右の理にて［illegible］

［illegible］

［illegible］

○［illegible］

［illegible］

［illegible］

○大将とも大名　又何に遠慮［illegible］

将軍家［illegible］大将［illegible］

［illegible］律［illegible］

［illegible］

［illegible］

○将［illegible］

将軍家［illegible］

[illegible] 経書の [illegible]

[illegible]

[illegible] 南遊 [illegible]

[illegible] かね [illegible]

市人称嶌居 [illegible]

陸宮叢閣雛比日夷 [illegible]

古有中邨八郎 皆吾賓 [illegible]

山以天尊人称 [illegible]

詹工称博士師亟称右保一安甫

○

称隣傍 [illegible]

之畑習也國都有 [illegible]

[illegible]

貢蓋王見既明六年二月 [illegible] 云

[illegible]

此月始海 [illegible]

和名 [illegible] 橋標 [illegible]

[illegible] 之當加由 [illegible]

アルハひとしきりの[illegible]

○梓也　烏丸亜相資慶卿

[illegible]の[illegible]みしやう[illegible]

梓亭[illegible]直[illegible]

限りなれとて[illegible]の[illegible]

[illegible]毎日[illegible]

○[illegible]の[illegible]たこ　[illegible]

[illegible]

[illegible]汁[illegible]

[illegible]雅[illegible]

[illegible]の[illegible]山[illegible]

○[illegible]柳[illegible]

[illegible]柳[illegible]

○[illegible]の[illegible]

[illegible]仲[illegible]

○[illegible]柳[illegible]

[illegible]御為[illegible]

〇岳山之櫨年秋 楓[illegible]

[illegible]御宿[illegible]

[illegible]螢狩[illegible]田[illegible]

[illegible]

鳴海屋橘[illegible]

[illegible]

〇和[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後橘屋[illegible]

[illegible]

御我か寺御代にて [illegible]
の[illegible]として[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

閑田云芭蕉花摺ハ化の化物儀の[illegible]の
補[illegible]歴世の事[illegible]
[illegible]
ふと懐風藻ハ[illegible]と[illegible]とて詞上代の文雅[illegible]
[illegible]河島皇子伝 皇子者淡海帝第二子也
志懐温裕局量弘雅始与大津皇子為莫逆
之契及津謀逆島則告変[illegible]忘私好
而奉公者忠臣之雅事背君親而厚交者悖

〇德之流田曰く　唐用字也
〇桓武より先き拙字あることなし
〇三彦将軍ニ天孫アリ朝廷ニシテ此孫若ニ十郎降
菅公十二歳ニテ作リ　五難紀信子長月四日
〇星云宮撰侍作　懐菅原道真ハ御幸ノ為ニあり
ゆをたくれひそると内りよまくく
也のころおとンいれひつひやにから中男
空德御君曰このましき其ふれるれのなわれたまへ

〇延喜十七年正月年ゟ慶長例　勾取幻量勅
あり　宇の世ゟおそ年廿ちれふ有ハ勅　　とゞめ
章形を唱ゟにちと称てたゝ
〇
手拈結綁千年州　〇吐蓬萊五色雲
かい烟草のゑ手れにてる
〇高野山十郎ゟの境に移り田中節花はれ
かぶ伸て拓てやしされくたる付くまかりし

餌エ ゑばむもとは何と鹿つどひて餅など
まくらの花ちかきまで来りふ　と鹿のホイと云
ホイと云ことを食の事ヨリ　雀の房の食ありとらふことを云

○庸人ヨトイ 〔字〕と云

○山鹿素行之説 官議を帯り白穂十
整シテアリ 古石良雄ニて手伝て手半伝

闢邪小言 大橋順蔵著
程子ハ尊言ヘ則已ニ四有ア 仁義経

新井梓後守居義ハ元土屋民部少輔家臣ニテ又堀田備中州仕ヘ
市部言ウ知ヘ主仕ヘ之称清
母昭高[redacted]
幕府御偏帯 衆ノ列ニ配リ朝報ヲ文ス可ル遣也り[redacted]

○浮白居の間　君美せんと山仙台居
作名洞洞巌號浮白之堂　洞巌ハ法師ニ而
翻譯浮白堂の主ハ
首書韓まで田村居の建立の比ひ翫ると此堂ハ浮白との御寺
問答お附して両様の二句つゝ三句つゝ書まへ申事　觀くハかりて
わかし秋なりし時ありぬる花の盛にてれいとん丁まゝに志へく
あらぬ萩の色にて其文ハ秋也　此句ハ今申すのる
萩なてんとありますりいける鐘の句の意と申侍るは
子供もとやうし語りゆくぬかの　又年事る桜もて句ありかかりける
所がつひ妬て申ニ云　桃源御亭ニ云　白居易の詩
也なれの萩ハ庭地の外よりみえの盛ニたるもへ人ハニて
又京のつかね殿と云御亭

△右松古年皆の　左屋民部卿ニて
△秋萩の枝を水に浸しおきて其の付け目しぞて衣の庭にしてば
めでうることあるべし
△蒹葭　千尋もむさ岡の　芽のあの芽子とあらじれまして
あはれのいまさ色白きあはしらるて　云ひとをかし
めてる萩もまして枝のをりもとをう梓子の物とせ一宗
されば味も幸う何るのでとよく　白居の詩　宗家御悦岩年和尚
△白居易
花和吾堀岡の御名の事なたえのかすよう
△文昭王廟御子と設てしこさみまる其所分ちあらし　所御の称するを

世良田より出たる名字なり同じ 章廣竹中某に亦

名乗は世良田[illegible]得川の[illegible]家[illegible]

君に献じ由にて 里見[illegible]の[illegible]

知らせたるべし

△ 相馬の国姓の事 是は将門[illegible]其後 大膳亮

義胤流と申[illegible]相馬大作の古主たる南部[illegible]の

外戚[illegible]嗣子なくて

戸田[illegible]の弟二子を養子とせられたる[illegible]

△

今日記の書[illegible]書[illegible]今の南部[illegible]道

頌[illegible]中[illegible]菊池[illegible]出されし[illegible]子孫

書写し[illegible]

△ 里見の紋[illegible]

里見の紋[illegible]の紋[illegible]

金子[illegible]同じ[illegible]

中[illegible]紋[illegible]子[illegible]

とらへて

藤[illegible]

[illegible]まで[illegible]

御[illegible]上[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

富高の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]深川[illegible]

[illegible]

[illegible]

正月十二日より常陸に至て十九日に大洗にいたりしかんと
しはらく明りなき地にて人と車にて銅の大史
出来たる紀州宮にしるし置たりしか 此村内に甚だ濃の
江戸大手の方より人ありて 赤土星暦の紀
かえりたまへと其にて[illegible]や紙をかき筆
また御門[illegible]備はね出もとて之情人の
所の書付もて其の後にも見しものみえて[illegible]
中島浦[illegible]大し言知せずは[illegible]
よしわけて花の[illegible]中で[illegible]も青

[illegible]在て手前の名わ[illegible]
まて[illegible]のしたらにて書きて[illegible]
もの積もりて廿日まりて[illegible]中出て要ん
千年雅言
―― 也て東雅とも名付られたれ
移年 形色残之
蓄貯(チヨ)ノ魚脩 飾 麋(ヒヨウ)
(サラシ) 檩
霊宝 多賀[illegible]
大社東ハ[illegible]

天之御中主神　白石云天ハ高也 中ハ仙也 ……
中ノア仙名陰陽也……

○平生ハ雨中ニ唐詩みる……

所の雨中の[illegible]

唐詩ノ風[illegible]

韓柳欧蘇[illegible]

文章軌範[illegible]

[illegible]

謬誤　化　詐

晁[illegible]筆記　○名田ハ田也と度成業

[illegible]の机辺の[illegible]と清[illegible]

[illegible]

○橋[illegible]遠江の天竜河に……西行発心記ニ見エ

龍乃梵語那可[illegible]東海道記ニ……

[illegible]中ノ[illegible]

採薬の[illegible]

[illegible]

[illegible]

御堂に置 象牙に彫ひて [illegible]
力なき [illegible] 柳 [illegible]
て [illegible] 柳 [illegible]
よく [illegible] 限なく [illegible]

日吉ノ儀同三司實信公の詠に 秋田の露 [illegible]
胡家に掛て出崎 [illegible]
[illegible]

ロ又月の形ニ [illegible] 柳の [illegible]
月如懸弓少雨多風 月如仰瓦不求自下と云
古徳 [illegible]

口京ノ智恩院裏門前の長き向ひの [illegible] 柳 獨 [illegible]
き [illegible]
柳あり [illegible] 雨 [illegible] 陰 [illegible]
御 [illegible]

天保十三日
播州本郡村小寺惣兵衛

隠居一
廿六才
[illegible]
[illegible]

[illegible]

寛政八辰年[illegible]

申正月
元禄[illegible]十一月[illegible]
以手紙[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

はさみ込

清人石龐天序云　此等都是處
奈何之々研精國字　於書中
蘭夫復微
細毛緒字
子之學字節　考據該博識氣勃々
爲學之者宜於全書之於書　輟拾不遺
不解可為博為之　此類
獨於雪
微　隱

一筆所
謹申ス
[illegible]所
白[illegible]候
[illegible]
乞[illegible]

治[illegible]月や
の洪水ニ橋や
なとも流され候も
[illegible]下
四十九年ニ而と
なりし[illegible]
[illegible]

錦川[illegible]橋
[illegible]流し[illegible]
[illegible]流[illegible]
角田川ニ橋も流れ
[illegible]
流れし橋[illegible]
桂川[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
四十九年[illegible]
[illegible]